



長野県岡谷東高等学校のより良い学校づくりをすすめる

P T S 協議会だより

2008年10.4秋のつどい特集号 08.12.10発行

岡谷東高校のよりよい学校づくりをすすめる

「10・4秋のつどい」を開催！

2回目の全校PTSで着実な前進と成果

秋晴れの10月4日(土)「岡谷東高等学校のよりよい学校づくりをすすめる10・4秋のつどい」が開催されました。PTS協議会の成果を全校生徒に、そしてより多くの保護者の方に広めようと昨年からスタートした「秋のつどい」ですが、第1回の成果と課題を踏まえ、一層の前進をめざしての開催となりました。当日の取り組みの概要と、講演会の要旨、分科会討論のまとめを報告します。



1. 「10・4秋のつどい」取り組みの概要

(1)参加状況のまとめ

受付で確認できた来校者数をまとめたものです。昨年の反省を生かして、中学校の文化祭、地域の行事等のピークをはずし、昨年より2週間遅く設定しましたが、残念ながら参加者数は漸減傾向となりました。各家庭への連絡や参加呼びかけは、夏休み前の懇談会時にチラシを配布して周知、その後9月はじめに正式な案内を全家庭に直接郵送して出欠確認の提出をお願いしましたが、出欠票の回収率は全校で65%程度にとどまりました。2回目の取り組みとして保護者の皆さんに一層関心を持っていただきたけることを期待しましたが、土曜日といってもお仕事等で多忙な家庭が多く、参加が広がらないのが現状です。特に講演会への保護者の参加が大きく減り、PTA主催の取り組みとして、予算も投じているだけに課題を残しました。次年度へ向けて、公開授業・講演会・全校PTSという秋のつどいの枠組みと流れについて検討が必要となりそうです。

(2)公開授業 8:55～11:15

講演会、全校PTSの時間確保の都合により、40分の短縮授業でしたが、午前3時間のすべての授業を公開し、39名の参観者がありました。日程に配慮したこともあり、体験入学に参加できなかった中学生とその保護者、教員9名に参観していただくことができました。同窓会の皆さんには、昨年に引き続き参観していただきましたが、教室の学習環境と生徒の学習への姿勢が格段に向上している印象を受けたという感想をいただきました。「よそ行きの授業」でなく、「普段着の授業」を定期的に見ていただくことを通じて、東高の教育の成果と課題を客観的に明らかにしていく必要があります。

来校者数のまとめ(受付での確認・カッコ内は昨年比増減)								
	全体		公開授業		講演会		PTS分科会	
保護者	67	(-2)	14	(0)	30	(-15)	55	(-1)
同窓会	16	(-10)	16	(-7)	16	(-7)	14	(-3)
その他	10	(+5)	9	(+6)	1	(0)	0	(-2)
合計	93	(-7)	39	(-1)	47	(-22)	69	(-6)

全校PTS分科会参加状況(弓道部を除き、その他の公欠、当日欠を含む)									
分科会NO	予定生徒数	出席者	欠席者	公欠	出席率	保護者	同窓会	教員	合計
1	20	18	2		90.0%	2	1	2	23
2	20	18	2		90.0%	3	0	2	23
3	20	18	2		90.0%	3	0	1	22
4	20	17	3		85.0%	4	1	1	23
5	28	23	5		82.1%	3	1	2	29
6	27	18	9		66.7%	4	1	2	25
7	27	26	1		96.3%	1	2	2	31
8	21	20	1		95.2%	2	0	2	24
9	20	14	6		70.0%	3	0	2	19
10	26	25	1		96.2%	2	1	1	29
11	27	24	3		88.9%	3	0	2	29
12	19	15	4	2	78.9%	1	0	2	18
13	22	19	3		86.4%	2	1	2	24
14	21	15	6		71.4%	2	1	2	20
15	20	14	6		70.0%	3	0	2	19
16	19	19			100.0%	7	1	2	29
17	18	13	5	1	72.2%	3	1	2	19
18	26	18	8		69.2%	2	1	2	23
19	26	18	8		69.2%	4	1	2	25
20	26	24	2		92.3%	1	1	2	28
合計	453	376	77	3	83.0%	55	14	37	482

学年別参加状況					
学年	予定生徒数	出席者	欠席者	公欠	出席率
1	148	131	17		88.5%
2	166	146	20		88.0%
3	140	99	40	3	70.7%
総計	454	376	77	3	82.8%

全校PTS分科会 担当者および会場

NO	テーマ	生徒数	職員担当者	生徒担当者	保護者担当者(左端が教養委員、他は評議員)	会場
1	制服を考える	20	宮澤	山崎(3-6) 小林(2-2)	中山 恵子 五味 つね子 佐々木 明	401
			田村	花岡(2-5)	山内 ひとみ 青木 真美	
2	制服を考える	20	下平	霜鳥(3-5) 東(2-2)	長命 克己 熊澤 丈太郎 高田 しのぶ	402
			岩田	井出(2-5)	工藤 尚子 荒木 さちみ	
3	制服を考える	20	花岡	塩原(3-1) 森岡(2-4)	片倉 美津恵 和田 茂夫 鮎澤 真由美	403
			小林万	佐久(2-5)	加藤 初世 都筑 輝代	
4	制服を考える	20	出野	平林(3-6) 山田(2-5)	菊地 まなみ 小林 早苗 森岡 恵実	404
			市川	遠藤(2-5)	塚原 勝 上條 英明	
5	頭髮・化粧・身だしなみ	28	土橋	竹下(3-4) 中原(2-6)	滝沢 久美子 加藤 たけみ 中島 まゆみ	405
			江取	鮎澤(2-6)	泉 則夫 藤原 倫香	
6	頭髮・化粧・身だしなみ	27	関島	小松(3-4) 中山(3-4)	松澤 ほづみ 三ツ村 和久 西澤 千穂	406
			川口	中林(2-1)	山崎 勝彦 宮坂 彰	
7	携帯電話・ネットとどうつきあうか	27	水野	小池(3-6) 古田(3-6)	小松 孝枝 山田 美香 喜納 英昌	音楽室
			三村	松尾(2-2)	藤森 真智子 小林 訓子	
8	高校生の友情・恋愛・性を考える	21	倉科	竹内(3-3) 名取(3-6)	上野 由美子 柳平 直子 行田 嘉宏	201
			藪下	牛山(2-5)	伊藤 真由美 武井 明美	
9	高校生の友情・恋愛・性を考える	20	丸山 飛知和	小松(3-2) 矢澤(3-2)	澁谷 直美 早川 薫 小林 博美	202
			両角	寺澤(2-5)	中島 義典 泉 明子	
10	東高をよくするには	27	今井	中山(3-1) 横関(2-6)	小平 恵子 守谷 博美 古田 良孝	203
			関沢	高橋(2-6)	山田 常子 木村 節子	
11	勉強・進路の悩みを語ろう	27	入山	守谷(3-3) 宮下(2-6)	山田 ゆり 石坂 亮 宮坂 由美	204
			中村	中島(2-6)	岩垂 千津子 工藤 和子	
12	部活動を考える	21	天野	小林(3-4) 藤森(3-6)	宮部 弥寿子 今井 まり子 溝口 典子	205
			鈴木	藤原(2-1)	今井 文章 小口 小百合	
13	部活動を考える	22	山口	山内(3-2) 宮坂(3-1)	小泉 信一 今井直美 高木 春美	206
			牛山	斉藤(2-1)	唐沢 みち代 井出 和子	
14	こんな勉強必要なの？	21	田中	高木(3-5) 立道(3-3)	伊藤 優子 宮坂 綾 藤森 一興	301
			山田	藤森(2-4)	中村 初美 牛山 しのぶ	
15	こんな勉強必要なの？	20	中島	中林(3-1) 藤田(2-6)	小松 宏 小澤 美香	302
			矢口	西川(2-4)	伊東 美子 林 美樹	
16	今の世の中と若者の未来を考える	19	杉村	今村(3-4) 小島(3-1)	藤原 好美 後藤 剛	303
			野村	中村(2-3)	笠原 真奈美 岩崎 ひとみ	
17	今の世の中と若者の未来を考える	19	小澤	佐藤(3-5) 坂口(3-5)	大嶋 恵美子 島田 かおり 松澤 幸子	304
			北村	田瀬(2-1)	井口 真弓 岩垂 敦彦	
18	どうする地球温暖化！環境問題を考える	26	井澤	市川(3-2) 中山(3-6)	清水 佐智子 小口 健 牛村 由美子	305
			小林昌	君島(2-1)	高山 和子 平野 正司	
19	どうする地球温暖化！環境問題を考える	26	澁谷	土橋(3-3) 大西(3-1)	篠原 秀美 逸見 文美子 伊東 徳	306
			代田	松下(2-4)	小泉 孝子 加藤 みき子	
20	どうする地球温暖化！環境問題を考える	26	成澤	小澤(3-1) 荒木(3-6)	塩原 淳司 柳沢 和子 片岡 一美	307
			立木	林(2-1)	小口 裕三子 山岸 良枝	

(3)井口深雪さん講演会 12:00～13:30

2回目の秋のつどいの講演会は、講師に長野県小谷村出身の視覚障害者で、長野・ソルトレーク・トリノと3大会連続でパラリンピックのノルディックスキーに出場した金メダリストの井口深雪さんをお招きしました。井口さんは、昨年第1回目の講演に是非とお願いしたのですが、渡米される関係で実現できず、2年越しでラブコールを送って、在住されているアメリカはアイオワ州から里帰りを兼ねて帰国していただき、今回の講演が実現しました。昨年は、保護者と3年生のみが講演会に参加し、1・2年生は授業という変則的な取り組みで、せっかくの講演がもったいないという反省があり、今回は全校参加とし、井口さんの活躍が描かれた「心眼で射止めた金メダル - 小林深雪と日立システムスキー部の挑戦 - 」(宮崎恵理著・新潮社刊)を1学期から全クラスに配布して事前学習も進めてきました。その本のタイトルそのままに「心眼で射止めた金メダル」と題して語っていただいたお話は、井口さんの人柄そのままに、とても温かく、力強く、



印象的で、静まりかえった体育館に響く井口さんの声が、全校生徒の胸に染み渡るような素晴らしい90分間となりました。途中、パラリンピックのバイアスロン競技で使用するビームライフル(日本に2台しかないもの)を使った実演も交えて行われた講演の内容は「2.講演会要旨」にまとめました。

(4)全校P T S 13:40～15:30

秋のつどいのメインとなる全校P T S。昨年から残されたいくつかの課題を抱えて2回目の開催となりました。分科会テーマは、昨年のもを参考にしながら職員の事務局を中心に検討し、10テーマに絞り、20の分科会を設けました。昨年は全校P T Sでの討論を踏まえて方向性を出そうという「自販機の導入」「アルバイト規定の改定」の2つの大きなテーマがありましたが、今回は職員側から「冬期間の女子の制服問題」についての提起以外、具体的な課題があがってこなかったのが残念でしたが、新たに「今の世の中と若者の未来」そして「どうする地球温暖化！環境問題を考える」という大きな社会問題をテーマに加えてみました。

昨年からの課題としては次の3点があげられていました。

全校P T Sの目的と意義を全校に徹底し、参加率や参加する姿勢を前向きに改善すること。

保護者の参加を増やすこと。

司会者の技量を向上し、分科会の討論の内容と質を充実すること。

正式な総括は定例の第9回協議会に譲りますが、については参加率が大幅に前進するとともに、前向きに参加している様子がアンケートからも感じられました。についてはまだまだ改善の余地はありますが、2年目ということもあり、特に分科会担当の中心となった3年生は、昨年の経験を踏まえて落ち着いて進行することができたようです。P T A評議員の皆さんに保護者担当者として協力していただきましたが、参加者数については横ばいから微減の傾向があり、については引き続きの課題となりました。各分科会の討論の概要は「3.全校P T S分科会での主な討論のまとめ」をご覧ください。

2. 講演会「心眼で射止めた金メダル」(要旨)

皆さんこんにちは！1時間以上の長い話になりますがよろしくお願ひします。ちょっと風邪をひいてしまってお聞き苦しいと思いますがお許しください。また、まとまらない話になるかもしれませんが、つまらなかったら遠慮なくお昼寝してください。皆さん、本を読んでくださってるんですね。自分のことが書いてある本って何だか恥ずかしくて、私はほとんど目を通してないんですね。今日は本に書いてあるお話とは違う話になるかもしれませんがお願ひします。

(1)私の視覚障害

まず、私の視覚の状況ですが、通常の視力検査では計れません。まったく見えない、全盲ではないのです

が、自分の正面はブラックホールにチカチカ電飾が光っているような感じでまったく見えません。ただ、そのまわり、上下左右はうっすらと光を感じることができます。皆さんがいることはわからないのですが、両側の窓から光が入ってきているのは感じることができる、そういう状況です。普段の生活で一番困ることは、家の中での生活ではなく、外を歩くときです。自動車はエンジンの音でわかるのですが、音の出ない自転車には気がつきません。歩道をかなりのスピードで走ってくる自転車が一番怖いです。あとは初めて行く場所はどこに何があるかわかりませんから不便です。今日も岡谷駅では電車で一緒だったおじいちゃんに改札口までつれてきてもらいました。家の中の生活では、どこに何があるのかわかっているのもそれほど困りません。料理も普通で、包丁は見えても見えなくても危険の度合いは変わりませんし、火もおいや音で確認できるのでガスを使っています。味つけは問題かもしれませんが…。ただ、衣類の汚れや黄ばみは自分ではわからないので、見える人に確認してもらっています。目が見えないことの不便さばかりいってききましたが、ときにはいいこともあります。こうして大勢の人の前で話すときにも、皆さんの顔やしぐさは見えませんが緊張せずにすみます。また、知らない場所では誰かの肩や腕につかまって連れて行ってもらうこともあるのですが、自分の気に入った人、好きな人に堂々とつかまって歩けますからちょっと得です。

私の障害は生まれつきですが、視力が落ちたのは小学校の低学年からで、小学6年生の2学期から盲学校に行きました。そのときまで盲学校の存在さえ知りませんでした。さらに、大人になってスキーを始めるまでは視覚障害以外の障害、聴覚障害、知的障害、身体障害などを持った方のことも知りませんでした。ですから初めてそうした障害者の方と一緒にになったときは何を話したらいいのか、どうしたらいいのかわからないくらいでした。でも一緒にスキーをしたりして時間をすごす中で、わからないことはこちらから聞かないとダメなんだ、自分の障害のことも自分で伝えないとダメなんだと気づいたのです。そこから自分の今までのことを振り返り、自分自身を理解して相手に伝えること、相手の障害についても、どの程度の障害で、どんなときに助けが必要か、また必要でないのかを聞くことが大切なんだとわかったのです。障害のある、なしに関わらず、自分のことや気持ちは自分で伝えなくてはいけないし、相手のことも話を聞いて理解していかなければいけないと思うんです。特に私がスキーをするときには、視覚障害者ですから一緒に滑ってくれるガイドが必要です。いい滑りをするためには、ガイドの気持ちも理解しなければいけないし、自分の気持ちもガイドに伝えなければいけないということをとて強く感じました。

(2) 私は進路をどう決めてきたか

せっかく高校にお話に来たので、自分の高校時代のことをと思うのですが、皆さんは進路のことを考えていますか？ 私が自分の進路を考え始めたのも高校に入ってからでした。私は子どもが好きだったので保育さんになりたかったんです。でも目が悪いのに子どもと走りまわるなんてできないし、無理だなあと思いました。次に考えたのが看護師でしたが、これも断念しました。そこで目が悪くても、人と関わって、人の役に立てる仕事はないかと考えたんです。視覚障害者にはあんま・マッサージ、鍼灸という仕事があります。直接人と関わって、医者ではないけれど人助けができる、この仕事だと思い、「三療」の道に進もうと決意しました。盲学校の高等部の専攻科でも学ぶことはできたのですが、先生も仲間も校舍もほとんど変わらない同じ環境の中で、世の中のことを何も知らずに大人になるのが嫌で、思い切って茨城県つくば市の短大に進学し、全国から集まった視覚障害を持つ学生と一緒に勉強しました。その後、私は長野に帰らずに東京の老人施設に勤めたり、パラリンピックに出るためにスキーを始めたりしてきましたが、盲学校に入るときから自分の進路は本当に自分ひとりで勝手に決めて生きてきました。自分は一人で生きているつもりになっていたのですが、ある時、私がパラリンピックに出る関係で取材を受けた父が「自分が決めたように生きていけばよい。親ができることは道をそれそうになったときに助言すること、落ち込んでいるときに励ましてやることだ」と話しているのを聞き、自分はずっと両親に守られ、支えられて生きてきたんだと気づいたんです。それをきっかけに、両親に感謝の気持ちを持てるようになり、両親にきちんと自分の気持ちや考えを伝えたり、両親の話聞けるようになったのです。家族の絆が強まったり、近づくことができたのです。皆さんもお父さん、お母さんに反抗したりすることもあると思いますが、いろいろ話し合いながら進んでいってほし

いなと思います。

(3) アスリートとしての苦労

私が競技スキーを始めたのは22歳の頃です。小学校時代にクロスカンリースキーを履いたことはありましたがレースに出たことなどありませんでした。約10年間選手として競技を続けましたが、その中で一番辛かったのは、部活や勉強で頑張っている皆さんもそうだと思いますが、毎日地道に続ける練習でした。私は近くに一緒に活動する選手がいませんでしたし、監督やコーチとも電話で指導してもらっていたので、普段の練習はまったく一人でやらなければなりません。私が中学・高校時代にもっと部活に打ち込んでいたら心構えも違ったと思うのですが、私は他の選手が練習しているということをイメージできず、サボることばかり考えて、サボってばかりいました。口では「やってます」といってもほとんど何もせず、また日記等の練習記録をつけることもなく、合宿とかなると監督やコーチに「お前、何もやってないんだなあ」ってバレバレで、怒られてばかりでした。冬の大会シーズンに入っても、夏場にトレーニングをしていないので走れない、記録もあがらない、結果も出ないという状態でした。そしてもう一つ大変だったのが金銭面です。スキーは用具やウエア、ワックスも高価ですが、大会や合宿に参加すれば数十万円単位での出費になります。そして私たち視覚障害者は一緒に走ってもらうガイドの費用も負担しなければなりませんから、年間200万円以上が必要になります。安月給をやりくりして活動費用を捻出するのはものすごく大変でしたが、成人して就職し、自立した以上は絶対親の援助は受けたくない、親にお金を出してもらうのならスキーはやめようという変なプライドがあって、自分で何とかしようと生活してきました。それは自分で勝手に決めてやっていることなので仕方ないわけですが、そんな私を職場の同僚、友人、小谷村の皆さんなど様々な人たちが物心両面で応援してくれ、やってることができました。そしてトリノパラリンピックの前には、日立システムという企業が障害者のスキー部を立ち上げて下さり、選手として就職することができました。金銭面を心配することなく、給料をもらいながら選手として活動することは、アスリートとしての自覚が高まると同時にプレッシャーもありましたが、身体的にも精神的にも真のアスリートとしてトリノパラリンピックに出場することができました。

こうした辛かったこと以上によかったことは山のようにあります。一番は仲間ができたこと。何でも話せる友達、悩みでも、愚痴でも、何でも言い合えて喧嘩もできる仲間ができたことがとてもうれしいことでした。私は今回アメリカから一時帰国したわけですが、実家の小谷村に滞在しているわずかな時間に友人が会いに来てくれたり、いろいろ送ってくれたりしました。何の気兼ねもなく頼みごとができたり、掛け値なしに自分を慕ってくれる友達がいるってとても幸せだなと思っています。また、今日のような講演やいろいろなイベントに呼んでいただくことで、自分の方が人生のアドバイスをいただいたり、たくさんのことを学ばせてもらって人間として少しでも大きくなることができているように思います。

(4) バイアスロン競技とは(ビームライフル実演を交えて)

こんな話だけではいけないので、少しバイアスロン競技の説明をしたいと思います。今日はスキー協会から競技で使用する視覚障害者用のビームライフルを借りてきたので、実演を試みようと思います。私がパラリンピックでメダルを取ることができたバイアスロンという競技は、クロスカンリースキーと射撃というまったく違った2つの種目を組み合わせたものです。私が出場したときは12.5キロの距離を走る「ロング」と、7.5キロを走る「ショート」の2種目がありました。「ロング」の方は2.5キロのコースを5周します。1周ごとに射撃が入り、5発ずつ撃ちます。合計4回の射撃で20発打つこととなります。タイムの計測は、スタートしてからゴールするまでのタイムに、射撃で1発外すごとに1分のペナルティーが加算される形で行われます。ですから20分でゴールした選手が、射撃で20発中3発外していたら合計タイムは23分となるわけです。射撃は10メートル離れた26ミリの的に向かって撃ちます。手元で1ミリ銃の先がずれるともう的には当たりません



からなかなかシビアです。安静時ならまだしも走ってきて心拍数が160～170になっているときに命中させるのは大変なんです。今日は椅子に座って机の上で構えて撃ちますが、競技では伏せ撃ちといってうつ伏せになって撃ちます。オリンピックでは立ち撃ちもありますが、障害者の場合は伏せ撃ちのみです。目の見えない人がどうやって的を狙うかという、もちろん音なんです。狙いが的からまったく外れていると「ブツブツ」という点滅音が聞こえます。それが的の内側に照準が合うと「ブー」という連続した音に変わります。そして的の中心に近づけば近づくほど高くなり「ピー」という音になります。周波数でいうと1600ヘルツくらいの高い音です。その音の変化を判断して撃ちます。的の中心に照準があったときの高い音は一瞬しかありませんから、それをどれだけすばやく見つけて、銃口をずらさずに撃てるかが勝負です。ちょうど聴覚検査で聞こえてくるような音なんです。それではやってみましょう。

銃は左手だけで支えるようにして、銃がぶれないように銃のお尻の部分は肩にしっかりと固定します。この後、みんなにもやってもらいますからしっかり見ておいてくださいね。

<井口さんが実演し、当たり前のごとく命中！>

じゃあ、まず先生で誰かお願いします。

<関島先生が登場し、挑戦。いきなり命中！>

素晴らしい！なかなか当たらないんですけどね、当てられてしまいました。では、生徒さんをお願いします。

<1年生の石田君がトライするも残念ながら失敗！>

先生、生徒ときたらやはりお父さん、お母さんをお願いしたいですね。

<PTA教養委員長の松澤さんが登場。2回目いい線までいったのに残念！>

あー、的に入ってたんですけどねえ、引き金引くときにずれちゃいましたね。それでは最後にもうお一人、指名させてください。千景先生、お願いします。

<冬季オリンピック3回出場のアスリート北村先生が登場。しかしスケートのようにはいかず失敗！>

ありがとうございました。いかがでしたか、おもしろかったですか？

(5) 競技生活から得たもの、そして伝えたいこと

私が長野パラリンピックに出たときは、射撃はまだ実弾が出る銃を使っていました。競技とはいえ実際に弾の出る銃を撃つわけですから、私たちは講習会に出かけ、資格を取らなければなりません。日本では銃刀法という法律で規制されているわけですが、視覚障害者が銃を撃つなんて想定していないので大変でした。選手はもちろん関係者がみんなで警視庁まで出かけ、バイアスロンの説明をしながらお願いして、やっと許可があり、競技に参加できたのでした。こうして大勢の人の前で銃を撃てる優越感みたいなものも私がバイアスロン競技にのめりこんだ理由のひとつです。長く競技を続けていくことには苦しさもありましたが、その反面達成感も大きく、ゴール後に「負けたけどすごくよかった」とか「全然ダメだったなあ。もっと練習しなくちゃあ」とか思ったことが、今になってとても貴重な経験になっています。皆さんも今自分が始めていることで、ない人は見つけてほしいと思いますが、ぜひ達成感の素晴らしさを味わってほしいなあと思います。自分で決めて始めたことだったら、ある程度自分が納得するまで、ある程度結果が出るまで、私はたまたま良い結果で終わりましたが、どんな結果になるかわからないけど最後までやり遂げてほしいと思います。大変なこともあると思うけれど頑張ってくださいね。

皆さんは本当に強い人ってどんな人だと思いますか？それは優しい人だと私は思うんです。すべての面で優しい人、そりゃレース中や厳しいところでは鬼のような形相をしていても、優しい人が本当に強くなれるんです。だから失敗したり、負けたり、挫折したりしたときは、「あー、優しさが足りなかったのかなあ」って思っしてほしいと思います。私自身もこれから本当に優しい、強い人間になっていけたらいいなと思っています。

それから皆さんはちゃんとできていると思いますが、私はいい年になってから「ちゃんと人の話を聞け！」ってコーチにいわれたんです。「えっ？」と思うかもしれませんが、これは皆さんのような高校生より、いろ



いろいろな経験をして自分ができている大人にお話したほうがいいのかもしれませんが、大人になると「我」ができてきて人の話を聞かなくなるんですよ。学生ときは人の話を聞いて自分をつくっていくと思うんですが、大人になると聞かない。ある合宿の中で講習会があったのですが、聞いたことのある話だったので、私は疲れているし、「まあいいか」という態度で臨んでいました。その聞こうとする気のない姿勢は監督、コーチ陣にすぐ伝わり、終了後にもものすごく怒られました。たとえ同じ内容の話でも、一日一時でも違えば、聞く側の気持ち、感情も違って受けとめ方に変化がある。大人だから、自分の考え方があるから聞かないのではなく、人の話はまず聞いたうえで、自分の意見や考え方とミックスして心にとめなければいけない。まず人の話をしっかり聞けといわれたのです。その通りだと思いました。人の話を聞かなくなったら、自分の人間としての成長も止まってしまう。学生じゃないから、社会人だから勉強しなくてよいということはないのです。人生死ぬまで勉強なんだとしみじみ感じました。それ以降、人の話はしっかり聞こうと努力しています。皆さんもこのことを忘れないで下さいね。

そしてもう一つ。何でも話せる、相談できる友達を一人でも多くつくって下さい。人生には山あり谷あり、壁がつきものです。壁の大小はあっても誰にもあります。その人が頑張っけて力をつけてきたからこそ、そこにそうした壁が立ちふさがります。頑張っけてその壁を乗り越えてください。そこから逃げるのではなく、まわり道をして、時間がかかってもいいので乗り越えてください。乗り越えることで人間としてまたひとまわり大きくなれるわけですから。ただ、そのときには一人だと心細いんです。ですからもちろん先生や両親でもよいのですが、何でも相談でき、助言してくれる友達がいれば強くなれます。そういう友達、自分の話を聞いてもらうだけでなく、自分も相手の話を聞いてあげられる、いい関係の友達をたくさんつくって下さい。

いろいろな経験をしてください。勉強ももちろん大事だけれど、世の中には知らないことがたくさんあるわけですから、機会があったら何でもやってみてください。たくさん体験をして、自分にあったもの、自分のやりたいことを見つけてください。私もまだまだこれから頑張っけていきます。

聞きづらい話ですみませんでした。何か一言でも心に残していただけたらうれしいです。この後、保護者の皆さん、先生方と一緒に話し合う会があるようですが、私は今日この学校に来て、とても暖かい学校だなあと感じました。これからももっともっと良い学校にしていってください。今日はどうもありがとうございました。

3.全校PTS分科会での主な討論のまとめ

No.1 制服を考える

現在の冬服、冬の制服の現状について意見を出し合った。

- ・冬期間どのような服装で登校しているか
指定の服装で登校しないのはなぜか。
- ・実際に冬服を着てみてどう感じているか
(好)暖かい、良い、着やすい
(悪)着心地が悪い、厚いから嫌
- ・さらに冬服の嫌なところは



肩パット、生地、重くて着にくい、裏地がよくない、セーターの毛が付きやすい、スカートが寒い現状のような着こなしになっている原因を考えた。

- ・冬服に防寒・快適性等の面で問題あり

昔は指定のスラックス着用、上着はコートなど自由だった / セーターにスラックスならいいかも / セーターにスラックスは絶対合わない / スラックスをはきたい人は皆無

アンケートをもとに対策・改善策を検討した

・改善案のタイツ着用について...寒さ対策といってもはきたくない/ダサイ/似合わない/気持ち悪い/
スカートは冬でもはいていたい。でもスラックスは嫌

・タイツもスラックスも嫌だとすればどうするのか

ジャージやスウェットは今年の冬から改善が必要/とにかく大人から見てみっともない格好はやめてほしい/パンツロンの導入はどうか/ジャージやユニフォームなら私服でもよいのでは/運動部以外の人いるから冬期間のみ私服でもよいのではないかと/半自由化ではハニワがさらに増えるような気がする/寒さ対策を重視すれば半自由かも仕方ない/半自由化とは制服か私服かを選ぶことで、制服を着崩すことではない。きちんと制服を着る着方を検討すべき/夏服にカーディガンでよいと思う(多数)/夏服にカーディガン、さらにジャージでもよい。下はスカート、スラックス、タイツなど選べるようにする。そういう意味で半自由化にしてもらいたい

「冬の制服、何着てますか？」アンケート結果									
					2・3年女子生徒対象				
冬の服装					下半身防寒の方法				
回答	2年	3年	合計	%	回答	2年	3年	合計	%
上下冬服	24	22	46	15.6%	スラックス	3	1	4	1.5%
上下ジャージ	17	23	40	13.6%	タイツ	12	23	35	12.9%
夏服カーディガン・はにわ	15	28	43	14.6%	はにわ	13	16	29	10.7%
夏服カーディガン・ハーフパンツ	15	29	44	15.0%	ハーフパンツ	9	14	23	8.5%
夏服カーディガン・ジャージ	29	30	59	20.1%	ジャージ	34	34	68	25.1%
上下スウェット	3	9	12	4.1%	スカート・ハーフパンツ	9	9	18	6.6%
その他	29	21	50	17.0%	スウェット	43	45	88	32.5%
<small><その他の内容> 冬服・ジャージ/冬服・スウェット/冬服・ハーフパンツ/冬服・ウィンドブレーカー/夏服・カーディガン・スカート/夏服・カーディガン・スウェット/夏服・カーディガン・ハーフパンツ/上下ウィンドブレーカー/スウェット・ハーフパンツ・タイツ/スウェット・スカート/スウェット・ジャージ</small>					<small><その他の内容> 冬は制服じゃないほうがよい、スカートの下に何かはくと見た目が悪い/スラックスは嫌だ/制服に合ったズボンがほしい</small>				
冬の服装で困ること					上半身防寒の方法				
回答	2年	3年	合計	%	回答	2年	3年	合計	%
足寒い	40	37	77	26.3%	冬服の下にあたたかいものを着る	18	15	33	10.9%
お腹冷える	32	26	58	19.8%	冬服の上にあたたかいものを着る	35	42	77	25.4%
着心地悪い	46	57	103	35.2%	夏服の上にカーディガンをきる	27	41	68	22.4%
体温調節ができない	21	27	48	16.4%	Yシャツの上にカーディガン・トレーナー	32	23	55	18.2%
その他	4	3	7	2.4%	ジャージの上下	27	28	55	18.2%
<small><その他の内容> 動きにくい/中の生地が冷たく、寒い</small>					<small><その他の内容> コートを着る/スウェットを着る/冬だけ私服</small>				
その他制服全般について									
<small><防寒用のスラックスについて> 制服にあったズボンがほしい/スラックスは嫌、はく人いないと思うし、絶対嫌だ/スラックスはセーターに合わない</small>									
<small><制服のデザインについて> 伸びをすとお腹が見える/体温調節が難しい/着替えづらい</small>									
<small><今の制服の不便な点> 冬服:寒いのでジャージがいい/とにかく寒い/中が冷たい/着心地が悪い/風通しが良くて寒い/生地が嫌だ/上は要らない/卒業式にしか着ていない/何をしても寒いし、着心地が悪いし、親にみっともないといわれるのであまり着られない/着づらいし、かわいくない/肩パッドはいらぬ(ぶかぶか)/なくしたほうがいい 夏服:暑い/体育の後暑い/スカートも暑い/暑くて耐えられない、熱中症になる人も出てくると思う/汗かくと体</small>									
<small><もっと自由に> 厳しい/ワイシャツOKにしてほしい/体育での着替えが面倒なので着てこないのでは/衣替えの時期が微妙、今の時期にあってない/岡工のように半自由にすればいい/冬は私服に</small>									

No.2 制服を考える

自己紹介をしながら制服についてどう考えるかを聞いた。

生徒...セーラー服はかわいいが着づらい。冬寒く、夏暑い。制服があると楽。

保護者・同窓生...憧れの制服をなくさないで。かわいい制服の着崩しは残念。制服は所属がはっきりする。

アンケートおよび職員からの改善例をもとに今後の方向を探る。

- ・冬に夏服を着用する理由...着心地の悪さ、寒さのため。夏服にカーディガンの方が快適。
- ・防寒対策をどうするか...かつては制服の下に着用する決まったものも存在した。女子生徒が下半身を冷やすことはよくない。司会者が実際にスラックスをはいてみるが、はきたくないという声強い。
- ・重視するのはどちらか? 外見か、防寒か! ...どうしても見た目を基準にしてしまいがち。
- ・ルール通りに冬服を着なくても許されている現状も問題では? ネクタイもほとんどつけていない!!

- ・今後の方向として出された意見

男子は現状維持でよいが、女子の冬服改善が必要。/冬は自由にする/冬は制服の他に、スラックスやスウェットのような選択幅を広げる

No.3 制服を考える

自己紹介をしながら制服についての考えを出し合う

男子...このままでいい/胸ポケットが深い/ブレザーのほうがいい

女子...冬服はこのままでいい/制服を着たほうがいい

保護者...制服はあったほうがよい/制服をちゃんと着ているほうが見た目もいい/スカートは見ていられる方が寒いからスラックスをはいたほうがいいのでは/冬でも足を真っ赤にしている人がいるけど、だからといってジャージはだらしく見える/タイツやストッキングなどはくのはどうか

現在の東高の制服について

1 年...中学時は上はブレザーか自由、下はスカートかスラックス

2・3年...上下冬服にカーディガンが好ましい。上下スウェットやハニワはよくない

教員...真冬にスカートはちょっと残酷/上下統一してほしい

保護者...冬服か夏服にカーディガンは良いが、ハニワや上下スウェットは絶対ダメ/ネクタイがあるならしてほしい/今下半身を冷やしていると大人になって大変

職員からの改善例についてどう考えるか

男子...よくわからないが、見た目が悪いと印象も悪い/学ランだと首が苦しいけど、特に変えなくてもよい/中学時に学ランだったのでブレザーがよいと思った

女子...上下スウェットでなければ何でもよいのでは/このままでいい/タイツは指定されてもはいてこないと思う/ストッキングなども好きなときにはけるならよい/どちらかといえばいつも冬にはジャージ。ジャージのほうがよい/急いでいてもジャージならストッキングよりも手間がかからない

保護者...見た目がきれいな方がやっぱりいい/指定のタイツがあるのはいい/登校時は制服で、下校時はクラブジャージでもよいのでは

冬服は必要ないか?

上衣は冬服をなくし、下は夏用スカートをなくす。コストもかからない/行事のときに夏服にカーディガンでも可としてほしい

まとめ

男子...ワイシャツだと寒いので学ランの下にスウェットなどを着たい/そのくらいならいいと思う。職員の会前例でOK

女子...基本的にはこれでいいが冬服は着心地が悪いので改善してほしい/みんなバラバラだと見た目が悪いから全校で統一するとよい/行事のときにカーディガンを着てよいなら夏服だけよい/タイツは嫌だけどストッキングにニーハイなどはくのはよいと思う

No.4 制服を考える

制服についてのイメージや考えを出し合ってみる。

- ・制服のよい点...着るものに困らない。

- ・制服のよくない点...夏は暑く、冬は寒い。(着ないので)冬服の必要性を感じない。夏はポロシャツなど涼しいものを。衣替えが早い。着こなしの問題(スカート丈や腰パン)。

アンケートをもとに制服の現状について考える。

- ・夏服+カーディガンになる理由

この時期(10月)には冬服は暑いし、夏服の方が過ごしやすい。夏服がかわいい。

冬服は着づらい(生地、肩パットなど)し、寒い。

- ・スラックスの是非...スラックスはセーラーに合わない。スカートを長くした方がまだよい。
- ・スラックス以外の対処法は?...スカートのままか、ハーフパンツ、スウェット、ジャージが着やすい。
- ・男子は制服の下にジャージやセーターを着て防寒できる。女子はセーラー服自体が寒く改善が必要。職員からの改善案について考える。

- ・タイツについて...賛否両論だが、嫌だ、タイツにしても変わらないという意見多い。

No.5 頭髪・化粧・身だしなみ

自己紹介をしながら頭髪を染めた経験の有無を聞いてみる。

参加者29名中 染めたことがある人 58% 染めたことがない人 41%

髪を染めたらどうなるか、よい点(プラス面)と悪い点(マイナス面)を考える。

<よい点> 個性が出る/気分が明るくなる/見た目、ファッションとしてよい

<悪い点> 印象が悪くなる/髪によくない、髪が傷む/お金がかかる/手間がかかる/校則違反

染めてよい年齢、悪い年齢はあるのか?

	小学生	中学生	高校生	大人
染めてもよい	1	5	7	19
染めたら悪い	5	7	3	0
別にどちらでも	18	14	15	7

- ・小学生以下の時に親に染められてことがある人が2人、3歳の息子を金髪にした保護者もいたが、小学生では本人は判断できないのではないかと。

- ・社会人になるとなぜ染めてもよいのか?

高校生には校則・規則があるが大人にはないから/注意する人がいない/自分で責任が取れる年齢、見極めができる/卒業後の解放感/自立するから/学生はその時間がもったいない

- ・部活動ではどうか?

一人染めていても東高の評価が下がる/高体連の試合に出れない/監督の先生が怖い

- ・3年生になって髪を黒くしたのはなぜか?

進学や就職といった進路上の理由/他の3年生に迷惑をかけない/3年生になって気づいた

今現在、高校生としてどうあるべきなのか?

- ・責任や見極める力を身につけるための、社会に出て行けるようになる過程であるからこそ校則という規制があるのではないかと。

- ・結論や結果は出ないが、今日考えたことを生かして行こう。



No.6 頭髪・化粧・身だしなみ

3つのグループに分かれて3つのテーマで討論した後、全体で討論した。

自己紹介をしながら、この分科会を選んだ理由を出し合う。

頭髪について校則をもとに考える。

- ・なぜ髪を染めるのか?

ファッションや流行で/いろいろ売られていて染めやすい環境にある/大人に近づくにつれて「黒髪はダサい」という思いに/友人の高校には規則がなくうらやましい/先生の言うことはわかるがファッションでもあり、周りが染めるとうらやましい

- ・髪を染めるのはいいのではないかと、

- (肯定) 金髪はやりすぎだが少しぐらいならよい / 普段の生活がしっかりしていれば問題ない / 個性の表れであり、社会から見ても悪くない / 自己責任でやればよい
- (疑問) 程度を変えたとしても、規則を破る人は出てくる / 社会の悪い印象は直すには何年もかかる / 同窓生として学校の印象が悪くなると出身校をいうのが恥ずかしいこともある / 少しぐらいはいいかなと思うこともあるが、大人目線や社会的な部分が気になる
- (その他) 子どもはもともと茶色っぽい髪だが、中学時代黒く染められて転校した
化粧・身だしなみについて

- ・制服、特に冬期間の服装について

冬服が着づらい...着心地が悪い / チクチクする / かゆい / 生地を変えて、洗やすい素材にしたなら / 夏服はよいが冬服は必要ない / 規則を厳しくするより私服にすればよいのでは

グループ討論のまとめ

- ・頭髪について...金髪とかでなければ、自己責任で多少髪を染めることはよいのではないが
- ・身だしなみについて...制服を着ることが原則。行事等にはきちんと着る。冬服素材を検討する必要あり。化粧はしないほうが好ましいが、多少はよいのではないが。

No.7 携帯電話・ネットとどうつきあうか

ゲームと自己紹介の後、事前に行ったアンケート結果を配布して討論に入る。

携帯電話使用のマナーについて

- ・アンケートでは大体守れているという回答だが、校外も含めて現状はどうか？
電車内、運転中の使用が気になる / 掲示板への悪口の書き込みは身近には聞いたことがない / 彼氏・彼女がいるとつい使いすぎてしまう / 使用料を自分で払っているのは参加者中2名 / 出会い系を通じて実際に会うことはない。意識を高く持って気をつけている / 親とすればメールばかりでなく声が聞きたい / メールのやり取りは家に帰ってからの夜が多い。来たら返信する / 携帯がなくても生活できる人はいるか...ほぼ全員ができない

携帯利用の目的と便利な点

- ・何に使っているか...メール、通話、クーポン、サイト(掲示板、着うた他情報収集)
- ・便利だと思うこと...どこでもすぐに連絡が取れる / インターネットで情報が得られる(時刻表、音楽情報など) / 辞書機能 / テレビ電話 / ワンセグテレビ / メールマガジン / 携帯性 / スケジュール管理
- ・携帯メールの必要性には保護者から疑問あり。近くにいる人と話せばよいことをメールしてるのでは。生の感情のやり取りが大切では。

携帯ホームページについて

- ・HPを持っている生徒...参加者の9割以上
- ・HPをもつ理由・使い方...日記として / 暇つぶしで / 写真を掲載 / 作るだけであまり更新しない
- ・HPに関するマナーは大丈夫か(保護者)...男女ともに悪口を書くようなことはしていない(生徒)

学校での携帯使用について

- ・授業中に携帯を使用した経験...6~7割の生徒があり
- ・マナー違反の認識は?授業中に携帯を机に出しているのはマナー違反か?
人に迷惑をかければダメ(多数) / 机に出すくらいならいいのでは / 出す必要がない。マナー以前の問題 / 音を鳴らすのは非常識 / ばれなきゃ使ってもいい / 自分勝手にマナーを決めているのでは?
- ・携帯の学校への持ち込み禁止はどうか...ほぼ全員が困る
- ・授業中の携帯預かりはどうか...困るという生徒は少数 / 自分の携帯を教員に管理されるのは嫌だ

同窓生・保護者から

- ・携帯への依存が強く、怖さを感じる。社会で受け入れてもらえるように、マナーや良き伝統を大切に

てほしい。

- ・社会で通用するにはコミュニケーション能力、人間力が欠かせない。高校生活を大切にしてほしい。

No.8 高校生の友情・恋愛・性を考える

友情について

- ・長くつきあっていくには？...連絡を取り合う／互いに話をする、聞く／相手のことを理解する／楽しければ続く／注意したり、意見をいったり
- ・親友の定義は？...何でも言えて言い合える人、相談できる人／ずっと一緒にいるのが親友
- ・親友が他の人と仲良くしたら？...1人が嫌だ、4人がよい、2人がどうも思わない／嫌だったが輪がせまくなるのもよくないのでは（保護者）
- ・メル友は友達か？...友達ではない。そこから会って話して初めて友達になる
- ・親が望む友達関係...常に一緒にいるだけが友達ではない／見た目やうわべだけでなく、相手を思いやる友達関係に／やるべきことがある時には誘いを断れる関係を

恋愛について

- ・高校生の恋愛と大人の恋愛の違いは？
高校生のときは「好き」とかいえるけど、おとなになったらどうなのか／友情と恋愛の境目は？／ただ好きなら恋愛か、結婚するのが恋愛か／恋愛には高校生も大人も関係ないのでは
- ・年の差はどのくらいまでOK？
女子...2～5歳上、2～3歳上、1歳上か下
男子...1歳上か下、2～3歳上、5～6歳上、わからない
年上がいいのは...包容力があって安心／頼りになる／大人っぽい考えを持っている
好きになれば年齢差は関係ない／大人になれば年齢差の見方も変わる

性について

- ・恋愛から妊娠したらどうするか？
生徒...中絶する／相手と考える／なってみなきゃわからない／責任を取って働く／そうならないようにする／産んで育てる
大人...女子は人生が変わってしまう／性感染症についての知識も持ってほしい／結婚するまでは産んでほしくない／責任を持って育てられないうちは子どもをつくるべきではない

No.9 高校生の友情・恋愛・性を考える

自己紹介をしながら、分科会参加理由、悩みや質問を出し合い、恋愛を中心に討論

告白の方法は直接かメールか？

- 直接派（10人）...顔を見て話したほうが気持ちが伝わる／反応がわかる／昔は携帯もメールもなかったし、電話でも親が近くにいて恥ずかしい／日本男児だから、大和魂だから／
- メール派（8人）...恥ずかしいから／直接いいにくいことも書ける／形に残る（うまくいかなかったときは残らないほうがいいが）

彼氏・彼女ができたなら親に話すか、話さないか？

- 話す（6人）...家に連れてきて紹介する／相手の家にも行った／自身を持っているから／長電話とかでばれるから／親からアドバイスをもらえる／必ず家に連れてきた。隠すことじゃない
- 話さない（15人）...恥ずかしいから／自分からは言わない／こそこそするつもりはなかったが反対されるのが怖かった／自然にばれていけばいい／恋愛の話はあまりしない
- 親の立場では...自然にわかっていくもの／外でフラフラするよりは家に連れてきたほうがよい／あえて教えてとは言わない／相談してくれればアドバイスする／話せるような雰囲気にはしてあげたい

遠距離恋愛、肯定？否定？

否定的（15人）...さみしい/つきあっている意味がない/何をしているのかわからなくて不安/会いたいときに会えない/ウソをついてもわからない/好きになったらいつも一緒にいたい、確かめ合っていたい/環境が変わると気持ちが離れていく

肯定的（3人）...会えたときのうれしさがある/相手を信じられるようになる/自分の夢をかなえるために我慢することも必要/離れているからこそ気づけることがある

中味重視か外見重視か？

中味重視...見た目も大切だけどやっぱり性格/価値観が同じ人/尊敬するところがないとつきあえない/性格が悪いと長続きしない/恋愛は両目で、結婚は片目で

外見重視...最初は外見。中味はつきあってから。嫌なところは直してもらおう/相手にはきれいでいてほしい

その他なんでも聞いてみたいこと

- ・出会い系サイトなどをきっかけにつきあうことをどう思う？...本当に好きになることもあるかも/会って話して初めて好きになるのだと思う/会ったこともない人につきあうために会うことはないと思う
- ・プレゼントは何をもらったらうれしいか？（男 女）...旅行、何でもいい
- ・手作りのプレゼントをもらったら？（女 男）...うれしい
- ・今まで好きになった人のタイプは？（女 男）...かわいい人/大人っぽい人/背が高くてパーマがかかっている/お姉さん系/ときめく人
- ・年の差はどのくらいまでOK？...5歳以内/年下はダメ/3~4歳上/30歳くらいでも/できたらタメ/2歳/年下なら1歳まで/年の差があると価値観が違う

まとめと感想

みんなの考えが聞いてよかった/いろいろな目線で考えられて参考になった/自分自身を振り返ることができた/思っているだけじゃ伝わらない。物事を言葉で伝えることが大切/外見で判断してはいけない/自分を磨きたい

No.10 東高をよくするには

東高のいいところ、現状をあげ、それを踏まえて自分自身これからの生活で意識してやっていきたいことを全体で話し合う

東高のいいところ

- ・挨拶ができる
- ・校舎がきれい
- ・髪が黒くなってきた
- ・ゴミの分別ができてきた
- ・上下関係があまりない
- ・明るく元気がいい

東高の現状

- ・教室が汚い
- ・ゴミの分別ができていない
- ・掃除ができていない

これからの生活で意識していきたいこと

- ・当たり前のことをしっかりやりたい
- ・挨拶をさらにしたい
- ・学校をよくしようという気持ちを持つ
- ・遅刻をしない
- ・落ちているゴミを拾えるようになりたい
- ・掃除を積極的にする
- ・けじめをつける

保護者・同窓生から

- ・今日の講演会での生徒の聞く姿勢が素晴らしかった。東高はどんどんよくなってきていると思う。
- ・教室のごみなどみんなが気づいて拾ってほしい。気配りのできる東高生であってほしい。

- ・今日の授業参観では机の上にペットボトルがなく、うれしかった。安心して参観できた。

No.11 勉強・進路の悩みを語ろう

現在の進路の悩みを出しあう

・生徒から

本当に自分のやりたいことなのかわからない / やりたいことがたくさんあって迷っている / やりたいことや将来の夢がない / やりたいことはあるがそのために何をしたらよいかわからない / 学力の伸び悩み / 入学金や授業料など経済的な問題

・保護者、教員から

自分の夢を明確に持って進む / 親に反対されて諦めてしまうような目標ではダメ。何と言われてもやりぬく決意が大事 / 好きなことを仕事にするのがよい / どこに進路のきっかけがあるかわからない。悩むことが大事。失敗しても落ち込まずに。道はたくさんある / やりたいことはダメモトで親に話してみる

現在の勉強の悩みを出しあう

・生徒から

部活が大変で勉強時間がない / 成績が上がらない / 勉強の仕方がわからない / 歩トンで勉強してない / 勉強嫌いでやる気が出ない / 苦手教科をどう勉強したらよいか / 効率よく勉強するには / テスト勉強の仕方がわからない。他の人の勉強法を知りたい

・保護者、教員、3年生からのアドバイスなど

時間を生み出す工夫をする。朝型にしてみるなど / 一番知識が頭に入る時期。死に物狂いで勉強したという思いを持つことが大切 / 部活と勉強の両立が高校生活のハリになる / 進路が決まっても勉強を続けること / 勉強しないといけないときはするようにスイッチを切り換える / 授業中は起きてちゃんと聞いていること / 嫌いな科目も逃げずに聞くこと

大人からいいたいこと、要望

親と会話してほしい。人生の先輩として相談してほしい / 親に言われるままでは納得のいく結果を得ることはできない / 自分の気持ちをしっかり持ってぶつかったも親と話をする / 早めに相談してほしい

感想など

いろいろな人の考えが聞けてよかった。参考にしたい / 仕事を休んで来てよかった / 周りの意見を取り入れることも大事だと思った / 進路は自分だけの問題ではないと思った / 真剣に進路について考えたい / 親との会話を大事にしたい



No.12 部活動を考える

自己紹介の後、3つのグループに分かれて話し合ってから全体討論を行った

なぜ部活動をしているのか、またしていないのか？

楽しいから / 好きだから / 友達が入ったから / 今まで続けてきたから

楽しいのは...動いているとき / 勝ったとき / うまくいったとき

部活動をめぐる悩み

帰宅時間が遅い / 疲れで朝眠い / チームワークをどう築くか / 監督と意見が合わない / 技術が伸びない / プレーがうまくいかない / 体力不足 / 休みが少ない / モチベーションが上がらない / 先輩が話を聞かない / 部員が少ない

部活動に求めるものは？

やる気 / 技術 / チームワーク / 体力 / 大会での成績や結果 / 礼儀作法

部活動で得たものは？

忍耐力 / 自信 / 体力 / 集中力 / 技術 / 経験 / 精神力 / 仲間 / 友情 / 自覚 / ものを大切にする心

個別の課題について

- ・ 技術を高めるためにどうしているか... 繰り返しの練習 / 部活以外での自主的な練習やトレーニング
- ・ 中学と高校の違いは? ... 軟式から硬式へ / 練習量が増えた / フィジカルトレーニングが増えた / 厳しかった / レベルが高い / 実力の差が大きい / 考えることを求められる / 高校は甘い
- ・ 精神的に強くなれた、成長できたと実感するのは?... 自分のポジションの役割を自覚できるようになって / ものを大切にすることができるようになって / 感謝の気持ちを持てるようになって
- ・ 部員不足を解消するには?... 勧誘を強める / 部の成績を上げる / 体験入部を行う
- ・ 顧問への要望や疑問... 強くなるためにもっと厳しくしてほしい / 練習量を増やしてほしい / 先生の機嫌とりは嫌だ / 自分のために怒ってくれていると思う / 練習の意図がわからない
- ・ やる気の差をどうするか?... いろんな人がいるから仕方ない / ない人はやめればよい / 目標への意識統一をする / 話し合う / 個人の問題だから仕方ない
- ・ 目標は何か?... 県大会出場 / 勝つこと / できる限り上位進出 / 全国大会出場 / 技術の向上

教員・保護者から

- ・ 厳しくしてほしいというなら、自分たちで顧問にこんな練習をしたいと具体的に伝えよう / 自分たちがその気になればいくらでも練習できる
- ・ やる気は環境の問題。10人中9人にやる気があれば、残りの1人もやる気になるのでは。東高の生徒の特徴は人に流されやすいこと。リーダーシップを発揮できる人が皆を引っ張ることが必要
- ・ 部活動をやっていてよかったと思えるように / 礼儀を知ってほしい / 余力を残さず、とことんやり切る
- ・ 怪我をしないように目標を高く持って頑張してほしい / 家庭の協力が欠かせないと思うので親子の会話を大切にしてほしい

No.13 部活動を考える

自己紹介を兼ねてなぜ部活動をしているのかを出し合う

2歳からスケートを始めた。北村千景先生のもとでショートトラックをやりたくて / 友達に誘われてボート部に。水上を優雅に進むところに憧れて / 小3から続けてきたサッカーが好きだったから / 中学時の兄の影響で現音同好会に / バレーボールをもっとうまくなって満足したかったから / 小5から野球を続けているので / 小中であらゆるスポーツやった。9人制バレーで県大会に出たり、バトミントンで県優勝したりしたが、高校ではテニス部に

岡谷東高校の健康スポーツコースの成り立ちと歴史

- ・ なぜ健スポを作ったかの予想... 東高をよくするため (不良がいたりして評判が良くなかったから)
- ・ 男女共学後の東高は徐々に低迷し、10数年前には定員割れが続いた。多くの中学生に来てもらえる魅力ある高校づくりを模索する中で、自分に合った学びのできるコース制を導入することに。もともとスケート、ボートで実績のある東高であり、やまびこスケートリンクや諏訪湖の近くで施設、環境もめぐまれていることから、授業の中にボートや氷上競技、生涯スポーツや福祉を取り入れ、クラブ活動の中心として学校を活性化し、看板コースとして健康スポーツコースが立ち上げられた。総合、進学とともに3つのコースで平成11年(1999年)にスタートした東高のコース制は10年目を迎えた。総合・進学コースは見直しや改良が行われ、教養フロンティアコースとなったが、健康スポーツコースはまさに東高コース制の代名詞として、着実に実績を上げてきている。

諏訪地区の他校の部員数と東高の部活動の実績を確認

部活動をめぐる悩みや苦労

部員数が少ないのでしっかり部活を支えたい/チームワークを大切にしたい/同好会を部に昇格させたい
/部員間で悩みを話し合い、部としてまとまりたい

部活動を通じて得たもの・学んだこと

体力と我慢する力/何事もあきらめなければ結果がついてくる/基本的生活習慣の大切さ/チームワーク
の大切さ/礼儀など人との接し方/つらいときでも頑張る気持ち/当たり前のことやること

今後の部活動への抱負

体力、技術を磨いてチャンスに生かしたい/練習をしっかりとって試合に出たい/日常生活を大切に、努
力して成績を残したい/インターハイで北信越出場/大会で成績を残したい

保護者・同窓生・教員から

部活動以外のこともしっかりとやらないと試合でもプレッシャーに耐えられない/人間として大事な感謝す
る心を忘れないでほしい/部活動での先輩、後輩の上下関係は社会に出て役立つし、はきはきした返事や
受け答えも大切/とにかく継続することが大事。3年間続けることで心が成長する/結果や記録がすべて
ではない。お金で買えない経験、仲間が得られる

No.14 こんな勉強必要なの？

嫌いな教科・科目を出し合い、なぜ嫌いなのかを考える

・数学が一番多かったが他の教科も含めてなぜ嫌いか

難しい/できないから嫌い/今やっている勉強は必要ない/やってもムダ/勉強そのものが嫌い
なぜ勉強するんだろう？

日常生活で必要になってくる/頭を使うことが大切/大学受験ため、将来のため/難しいことは必要な
いかもしれないが基礎的なものは必要になるから/就職先や仕事で使うことがあるから/自分の目標(将
来の夢)のために必要になるから

なぜ高校に学びに来ているのか？

中卒より高卒のほうが給料が高いから/世間の目が気になるから/大学へ行くため/仲間づくり/部活が
やりたいから/自分の目標のため

これから勉強してみたいと思うことは？

自分の目標に必要なことを学んでいきたい/勉強をしていると、もっと知りたいと思うことがあるからそ
れを学びたい/自分の好きな教科をもっと深く勉強したい/勉強は嫌いだがやりたいこと(夢)があるか
ら勉強する/今やっている勉強で精一杯/とりあえず勉強が嫌いだから学びたいことがない

No.15 こんな勉強必要なの？

必要だと思う授業と必要ないと思う授業を出し合う

・必要だと思う授業

1年 体育 国語

2年 体育(運動不足解消) ライティング(できたら便利) 生物(体のことを知っておきたい) 英
語(国際的になる) 家庭科(将来のため) 国語(進学の小論が必要) 芸術(自分の好きな
こと)

3年 体育(ストレス解消) 理科(医学や温暖化の知識を得る) 保健(体の構造を知る) 国語(言
葉の使い方、日本人の基礎) 野外活動(自分で実践して幅広いものに触れる) 福祉(人の幸
せを知る授業) 読書(読むことで表現を知る) 音楽 社会 一般常識 計算 英語 家庭
水泳 実験

・必要ないと思う授業

1年 なし(知っていて損はない)

2年 古典(現代人だから) 数学(基本的な計算で十分) 世界史(昔のことは知らなくていい) 英語(好きじゃない) 芸術(将来に必要な) 総合・LHR(SHRと同じ、何をすればよいかわからない) 体育(回数が多い)

3年 数学 古典 理科

なぜ高校に来て勉強するのか? 本当に必要ない教科はあるのか?

必要ない授業はないと思う/嫌なことをやっておいて損はない/勉強は嫌なもの。だけどそれをやりぬく力をつけることが重要/人生結局は勉強しなければいけない/1年生の必要ないものはないという姿勢を他学年も見習ってほしい/少しは勉強したほうが良いと思った

No.16 今の世の中と若者の未来を考える

自己紹介をしながら、この分科会に参加した理由を交流

今の世の中が抱えている問題は?

・格差社会とワーキングプア

雇用における正規・非正規の給与格差の問題/「やる気」で何とかできる時代ではない。社会制度にも問題があるのではないか/夢や努力が報われない/生活するのに精一杯で夢を見る余裕がない。夢を抱くことで楽しさや豊かさが得られるはずだが/都合よく働かされている(名ばかり管理職など)現状がある



・10代の犯罪など

感情の小出しができない。感情や不満を放出する先、受け入れてくれるところがない/食事など生活環境が乱れている/社会の様々なことが子育てに影響を与えることも知識として必要/その日さえ良ければ良い、そんな若者に不安を覚える/携帯特にメール、あるいはゲームに熱中するなどコミュニケーションが欠けている。生の言葉・声での会話が必要では

「夢を見つけること」「人との関わりを大切にすること」が重要だと確認された

校内アンケートを元に考える

将来への不安が50%以上あり驚いた/自然環境への不安が多い/家庭に対して「落ち着く・安らぎ・愛・温かい(色は橙・桃・白)」というイメージで少し安心した/大人が一番守りたいのは「家庭」。そのために頑張っているのが回答に救われた/女子の方が悲観的である

まとめ

・討論を通じてのキーワードは

「夢と努力の大切さ」 「人との関わり・コミュニケーション・相互の会話」

「たくさんの人とのつながりを持つことの大切さ」 「自分の信念とアイデンティティ」

No.17 今の世の中と若者の未来を考える

格差社会について思っていることや感じていることを出し合う

男女差別/収入の差/貧富の差/学力・学歴の差/人間関係で強い立場の人と弱い立場の人/もし「格差」を感じないとしたらそれは両親が必死で守っているから/ワーキングプア/ネットカフェ難民

・ワーキングプアが増えるとどのような問題が起こるか

税金が増える/国のお金がなくなる/ホームレスが増える/犯罪が多くなる/子育てが大変/変な国になる/心を病む人が多くなる/気持ちの余裕がなくなる/少子化になり、結婚できず、孤独死が増える

クイズで正規社員と非正規社員の格差を考える

Q 正規社員と非正規社員（アルバイト・パート等）の生涯賃金の差はいくらか			
選択肢	200万円	2000万円	2億円
回答数	0人	15人	4人

正解は、さらに定年退職（60歳）以降の差は5000万円、大卒だとさらに差がおおきくなる
若者の犯罪の背景を考える 秋葉原殺傷事件を例に

- ・社会全体で若者が働く状況は今と昔ではどう違うのかを保護者に聞く
派遣社員自体がなかった／女性というだけで賃金が低かった／昔も問題にならなただけでワーキングプアはあった。生活が豊かになり贅沢を求めるのでワーキングプアが問題になる／高度経済成長期は就職率は100%。昇進、給与には男女差があった／昔はそんなに国に甘えることはなかった。今は自立心が足りない／昔は男は外で仕事、今は仕事より家庭を大切にしている父親が増えている／働きながら定時制で学んでいた。今の若者は甘えている／皆が同じような生活をするのができた時代から、生活の質が変わり、何をしてもお金が必要でギャップが生まれている

アンケート結果をもとに考える

- ・生徒から見た大人の姿...いろいろなことを知っている／常に仕事をしている／疲れている
- ・保護者から見た生徒の姿...しっかりしていると思う／指示を待っていて自分から動けない／いわれてもやらない／行動力、何にでもなれる未来があつてうらやましい／自立しようとしな

未来を考える 自分たちの未来は暗いと思う人（11人）

- ・どのような不安を持っているのか?...物騒／ちゃんと仕事につけるのか／少子化の影響で定年が延長されるのでは
- ・お金の困ったとき助けてくれるのは?...家族（11人）／自分で何とかする（2人）／友人（1人）／頼るところはない（子どもには迷惑をかけたくない）（4人）

暗い課題の多い今の社会をどう生き抜くか

生徒から...今からできることをしっかりやって生かしたい／周囲の人をよく見て自分でできることをやる／楽しくやっていきたい／しっかり仕事をして人に頼らず頼られる人になりたい／将来をしっかり考えて進路を決めたい／いろいろ知識をつけたい／前向きに生きたい／つらいことや嫌なこともあるけど楽しく考えたい／人とのコミュニケーションを大切にする／誰かが何とかしてくれると思わず自分で前向きに

保護者から...人の意見をしっかり聞き自分の足で歩けるように。相談にはのるが決めするのは自分／夢を持つ。仕事が楽しければ生活も楽しい／地球温暖化を防ぐ／病気とうまくつきあっていきたい

No.18 どうする地球温暖化！環境問題を考える

地球温暖化とは何か？

黒板を使って地球温暖化のメカニズムとその影響について説明する

地球温暖化を引き起こす二酸化炭素排出の原因を考える

車、電気の使いすぎ／工場からの排出／人類の生産活動のすべて

私たちにできることは何か？

マイバッグ持参／水道の水をこまめに止める／掃除機は弱で／マイ箸持参／ペットボトルのリサイクル／電気をこまめに消す／車の急発進、急ブレーキをやめる／紙の再利用／冷蔵庫をこまめに閉める／エアコン、ストーブの使用を控える／省エネ製品に買い換える／ガスは中火で使用／コンセントを抜いて待機電源をやめる／教室の消灯／職員室を一つにまとめる／トイレトペーパーの節約

東高での取り組みを事務室の資料で確認

各自がいつでもできることを確認し、地球温暖化防止のために取り組んでいくことを誓い合う

No.19 どうする地球温暖化！環境問題を考える

地球温暖化って何？知っていることを出し合ってみる

車や電気から出る CO₂ が増加して温暖化する / 北極、南極の氷、氷河が解けて海面が上昇 / 森林が伐採されて CO₂ の吸収量が減り、砂漠化 / 南方でとれる作物の北上 / オゾン層の破壊 / 自然破壊 / 異常気象、台風が多発、局地的な洪水や豪雨 / 気温上昇、猛暑と森林火災の多発

分科会担当者が地球温暖化について語る = 図表を示して大まかな説明

「STOP THE 温暖化！」 私たちにできること

・あなたが取り組んでいるエコ活動は？

車の停車時はエンジンを切る、エンジンブレーキやアイドリングを控える / 余計なものを買わない / ごみを出さない / リサイクルを進める / 電球を蛍光灯に / シャワーヘッドを節水型に / 節電。待機電力を減らす (コンセントからプラグを抜く) / いらぬ電気を消す / テレビは家族と一緒に見る / “がまん” “不満足” の生活を少しでもする (自転車を使う、暖房の時期をずらすなど) / マイバッグでレジ袋削減 / お米のとき汁は植木に / ペットボトルの再利用 / 地産池消 / 容器はリサイクルして詰め替え用を買う /

東高での取り組みを事務室の資料で確認

これから何ができるか、何をしていきたいか

温暖化防止に向けて小さなエコを積み重ねたい / CO₂ を減らす努力をする / 森を育てる (木を植えるだけじゃダメ) / 安いものを求めるのはよくない。適正なコストを考えていくべき / フードマイレージを少しでも抑える / 自分のやっていないほかの人の取り組みを取り入れる / 節電に心がけ、人にも伝える / 昔の人たちのようにがまんの生活をするように努力する / 自動車にできるだけ乗らない / 便利を求めない (消費者の欲求が温暖化を促進する) / 旬のものを食べ、季節を感じられる生活をする / リサイクルやごみの分別を徹底する



No.20 どうする地球温暖化！環境問題を考える

地球温暖化について知っていることを出し合ってみる

二酸化炭素の排出 / 世界の気候変動 / 気温の上昇 / 北極の氷や氷河が解けている / シロクマなどの動物が絶滅の危機

地球温暖化の原因は何か？

原因は二酸化炭素排出量の半分を占める家庭に

内訳は家電 32%、マイカー 30%、風呂・台所 25%、冷暖房 13%

対策としてできることは何か？

・私たち一人一人ができること

Reduce (減量 = ゴミになるものは使わない)

3 R Reuse (再利用 = 繰り返し使う)

Recycle (再生利用 = 捨てるものを別のものに変えて使う)

一人一人が少しでも心がければ CO₂ を減らせる / 電気をこまめに消す / 使わないコンセントは抜く / ゴミの分別をしっかりとる / 生ゴミから肥料を作る / 使わないものをリサイクルショップに持っていく / 小さなことの積み重ねが大事

・東高全体でできること

休み時間は電気を消す

教室暖房の設定温度を20 から19 に下げる

ペットボトル等のリサイクルの強化

職員の通勤を車利用から公共交通機関へ

- ・分科会として の休み時間の全教室消灯を提案したい

4. アンケート結果と感想から

(原文のまま・ …は分科会N0)

1. テーマや討論の柱の設定はどうだったか

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計
よい	11	15	3	5	7	8	10	7	16	19	23	3	13	2	6	15	10	7	13	5	198
ふつう	7	7	17	14	17	14	16	15	3	9	5	11	8	16	10	13	8	13	10	19	232
よくない				3	2		4	1					2	1			1	1	2		17
その他			1												1	1					3

いろんな人の意見が聞けた。/ 学校の制服についての話し合いだからいいと思う。/ しっかり話し合えた。/ 自分たちのことだから改めて考えられた。/ 制服についてちゃんと話せたからよかったと思う。/ とりあえずよかった。/ 並な感じだった。/ 話がたくさん聞けてよかった。/ よい話し合いになったので。/ よかったと思う。

今まで通りになってしまうのではないかと。決まりを守るのはリーダーが大変。/ いろいろな意見が聞けてよかった。/ 思っていたことなのでよかった。/ この高校には大事なテーマだと思う。/ これからの東のことだから。/ しっかり話し合えた。/ 自分たちが着るものについて話ができたら。/ 生徒の意見が聞けてとてもよかった。/ 制服について、みんな思っていることは違うから難しいけどよかった。/ ちゃんと意見とかいったりできて、みんなで考えられたのでよかった。/ 毎日の生活の中で生徒たちが直面している問題なので。

身近な内容だったのでよかった。/ みんなよく発言していたと思う。/ 難しいけどいろんな意見が出た。

制服をどうした以下を決めるのに子ども達のわがままを聞いている気がしました。もっと学校側が厳しくしてもいいのでは? / 話の内容がよくわからないところがあった。/ 必要なテーマだから。/ 普段どう思っているのかそれぞれの立場で意見が交換できる。/ 毎年やっているから。/ もっと幅を広げたい。/ よくわからなかった。

今問題になっているから。/ いろいろな意見が出たから。/ いろいろなことが話せてよかった。/ 制服にとらわれることはないと思うが、やはり基本に身だしなみという点で考える必要がある。/ 話すべき課題があったのでよく話せたと思う。/ 冬の制服は寒いから考えられていい。/ もう少し子どもの意見が出ればと思いました。

今の現状について話し合えてよかった。/ 結構問題になっていることだったので話し合うにはいいテーマだと思った。/ 現代の高校生が考えるべきことだと思う。/ 高校生に限らず日常生活の中でも大切なことだと思う。/ ちゃんとした討論ができたから。

今時の子どもたちの意見が生で聞けたのが大変よかった。/ 親にも接しやすいテーマだった。/ 身近なテーマなので意見が多く出てよかった。

意見があまりない。/ いろんな人の意見が聞けてよかった。/ 思ったことがいえたのでよかったと思います。/ ぐだぐだでした。/ 携帯電話のマナーについて学ぶことができた。/ 携帯に対する人それぞれの意見がいえた。/ 自分なりの意見がしっかりいえた。/ 途中から逸れていたので。/ 話が途中から変わり、意味わからなかった。あまり意見をいう人がいなくて張り合いがない。「同じです」ばかり。

いろんな話が聞けた。/ 関心もあり意見を出せる内容であると思うが、人前で話をする習慣がないので生徒からなかなか意見が出ず、そういう点では難しいテーマ。(プライベートもあり)/ ごちゃごちゃになってしまったから。/ 生徒の身近にあるテーマであり、興味もあり、また目を伏せていけないテーマだから。/ 学ぶことが多かったから。/ 学ぶことが多かったから。/ 恋愛・性のテーマが少し難しかった。

今、生徒が関心のあることを取り上げていたと思います。/ いろいろな意見を聞けたのでよかったと思います。/ いろい

るな意見があるので、まとめにくいなと思ったけどたくさんの意見が参考になりました。/ 高校生の考え、気持ちが聞ける。/ 知りたいことのテーマだったから。/ 生徒は興味を持っており、話しやすい。/ 楽しかった。/ テーマをひとつにしたことは良かったと思う。考えがまとまりやすいテーマであったと思う。/ 勉強になった。/ 難しい。/ 良かったです。/

いろいろなことを話し合えた。/ いろんな意見が出たから。/ いろんなことを話すことができた。/ 学校の良いところや悪いところがよくわかってよかった。/ たくさん意見をいえた。/ たくさんの意見が出た。/ ちゃんと考えているんだと思った。/ 中山君の進行がよかった。/ 何についてやっているかハッキリしている。/ 東高のよいところと悪いところなどいろいろ話せたから。/ 東高をよくしないと他人から見られたときに嫌な気持ちになるから。/ 東高をよくするにはいいと思う。/ 東をよくするためには必要。/ 一人一人が東高についてどう思っているか聞いてよかったと思う。/ 皆さんとお話できた。/ よいところをあげていくのはいいことだから。/ わかりやすく意見をいいやすかった。

今のことについて話げできたから。/ いろいろな意見が聞けた。/ いろいろな意見が聞けてよかった。/ いろいろな人の意見が聞けそうだったから。/ いろいろな人の意見を聞くことができたから。/ いろんな人の意見が聞けた。/ いろんな人の意見が聞けてよかった。/ 自分にあったテーマだった。/ 自分のためになった。/ 自分のためにはよかったと思う。/ 進路の話が聞けてよかった。/ すごく自分のためになった。/ 普段聞けない悩みや体験談を聞けるから。

楽しみがありそうなテーマだった。

いろいろな意見が聞けてよかった。/ ぐちゃぐちゃになってしまった。/ しっかりとした柱でよかった。/ スムーズだった。/ はっきりしていた。/ 部活の大切さを学べる。/ 保護者の人の話などいろいろいい話が聞けた。/ 皆でひとつのことについて話し合えた。

意見が出しにくい。/ とてもよかったです。/ 勉強について詳しくわかった。/ 勉強についてわかった。/ やってみたいとわからないことが多かった。

いろいろな意見を聞くことで自分の考えが変わったから。/ 最初は少し抵抗があった。疑問を持っていたのでこの内容を話し合えてよかった。/ 自分の気持ちが少しは変わった気がする。/ 先生のお話にあった何に対して必要、不必要ということはあった方がもっと意見を出しやすかったと思います。/ 題として悩むところがあった。/ 話の内容がはっきりしているんな考えが聞けた。/ もう少し具体的な内容で討論できると良かったかな。/ 私たちに必要なテーマだったと思う。



今の社会についてのテーマだったから。/ 考えにくいところと考えやすいところがあったから。/ 高校生にも将来をしっかりと考える子がいてよかった。/ 子どもたちがどう考えているか少しだけれど触れることができた。/ しっかりと意見を出し合うことができ、考え直すことができた。/ ちょっと難しかったし、意味の分からない単語も出てきたから。/ テーマが大きく、どこからアプローチするのか難しかった。/ とても難しいテーマでした。/ 内容が難しかった。/ 深い話し合いができた。/ よかった。よくできていた。/ 世の中についてや今の若者についてしっかりと考えられた。/ わかりやすく、とてもよい。

今の世の中や息子との関係に悩んでいたから。/ 資料がよくできていて、発言もしやすかった。/ 資料をそろえて進行も上手でした。/ 少し難しいと思ったけど、なんかすごいと思った。/ 少し難しいところも…。かなり分科会のテーマは難しい。/ テーマが少し広すぎると思いました。/ 保護者の方が疑問に思っていることを前もって考えてくれるからよいと思った。/ まあまあいい話し合いになったから。/ ますま社会について考えなければと思った。/ やはり難しかった。

「私たちにできること」という自己宣言により締めくくれた。/ 今一番問題になっている件だったので身近に感じられ、今自分にできることから始めます。/ いまいち分からなかった。/ 面白かった。/ 説明が分かりやすかった。/ ためになった。/ ちゃんと考えられた。/ ちょいちょいグダグダでした。/ 討論にならない。/ よく考えられた。

あらためて考えました。/ あらためて地球温暖化について考えることができました。/ 大きいようだけど身近な問題な

ので。/ 考えさせられました。/ 基本的なところからはじめていてよかった。/ 様々なことを調べていたのでよかった。/ 自分では気づけないことに気づけた。/ 少し難しかった。/ 討論の内容が少し難しかった。/ 話しやすい話題。(でも話題が多すぎて逆に難しい)/ 一人ひとりが少しずつ行うことで大きな力になると思います。/ 日々考えさせられること。/ もっと時間をかけて柱を考えていけばよかった。/ よく調べて資料ができていた。/ 話題が途中で尽きてしまった。

最初は幅が広いと思った。/ 地球温暖化は地球上の人間前文が真剣に考えなければいけない問題です。高校生もしっかり考えてほしいです。/ テーマが少し難しい問題だった気がします。/ 身近なところから世界規模のことまで出たから。/ 耳にはしていてもなかなか身近に感じにくいテーマではあるけれど一人ひとりの意識により少しでも改善されていくことがあればよいと思う。生徒たちが大人になったときのことを考えていければよい。

2. 時間設定について

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計
短い	2	2	3		1	1	1	1	1	1	1				1						15
ちょうどよい	5	18	11	8	10	12	8	11	11	15	11	6	14	10	8	18	16	7	13	9	221
長い	11	2	7	14	15	9	21	11	7	12	16	8	9	9	8	10	3	14	12	15	213

いろいろな意見が聞けた。/ 時間が余る。/ ちょうどいいです。/ 疲れた。/ 疲れた。/ 途中眠くなった。/ 眠くなった。
/ 話はたくさん出るけど時間が長い。

あまり長すぎてもまとまらない。/ いい時間。/ 時間はちょうどよかった。/ ちょうどよく終わったのでよし。/ まとまらない。/ よかったと思う。

意外とちょうどいい。/ 意見がまとまらなかった。/ まとめまでちゃんといけたから。

最後までまとめられた。/ 十分な話し合いができたと思う。/ 途中休むことなく話せたのでよかったと思う。/ もう少し少なくてもいいと思う。/ もう少し短くてもいいと思う。その中でまとめる!!

討論する時間は多くしたほうが良いと思う。/ 長くやってもまとまりにくいから。/ 長ければもっと意見が出ると思う。

少々だらけてしまった感じがあり。/ ちゃんと話せた。

ぐだぐだしてた。意味のない話があった。/ そんなに話すことはない。/ もっと意見を聞いたかった。

話すことがないから。

ちょっと長く感じた。/ ちょっと長すぎました。/ 疲れた。/ ひとつのテーマを話し合うのに充分だったと思います。

意見も出て、まとめるのにちょうどいい時間だった。/ 最初のほうで意見が出てしまって、後が困った。/ 時間ギリギリだから。/ 自分的には長く感じた。/ 楽しかった。/ チーム分け討論、全体討論をやるにはちょうどよい。/ ちょうど終わるようにできていてよいと思った。/ 沈黙の時間があつたところが多いから。/ 疲れたし、あまり話すことがなかったから。/ 内容による。/ まだちゃんと話がまとまらなかった。/ まとめのところまでやらなかったけど話し合いではよい時間だと思う。/ やることをもっと早くできるんじゃないかと思った。

最後に時間が余っていた。/ そんなに時間要らないです。/ もうちょっと意見が聞きたかった。

話すことはすべて話せた。

長すぎず短すぎない。/ もう少し短いほうがいい。/ もう少し短いほうがやりやすかったかも。/ もう少し短くていい。
/ もうちょい短くしたほうが良いと思う。/ もうちょっと短いほうが話しやすい。

いっぱい話してるなあって思った。/ たくさん話しすぎて逆にわからない。/ 長すぎず短すぎずでよいと思いました。

1時間くらいでよかったと思う。/ 2時間もいらぬ。長すぎる。/ 時間が余ったり、暇な時間があつた。/ しっかり話し合えたからちょうどいいと思う。/ ちょっと考える時間が短かったかも。

同じことが出てきたから。/ こんなに長く?としましたが、皆が発言していくには必要な時間だったように感じた。
/ ちょっと疲れた。/ 長くもなく短くもなくよい。

考える時間もあってよかった。/ 集中して話し合いができるちょうどいい時間だった。/ 前回より慣れた。/ まとめまでちゃんとできた。/ もう少し短くてもいいと思う。

1時間くらいでよかったと思う。/ 30分ほどでよかった。/ そりゃもう長いです。/ 長いからグダグダになる。/ 眠く

なる。

意見は出づらいがこれ以上長いときつい。 / 回答が似てしまって。 / もう少し短くていいと思う。 / 話題に詰まっていた。

意見などをしっかりまとめることができているのでいいと思う。 / 結論が出たころにちょうど終わったから。

3.分科会の進め方や内容

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計
よい	9	14	2	2	6	4	7	7	11	18	16	4	12	5	4	8	14	8	10	5	166
ふつう	9	8	16	17	17	12	16	14	6	9	11	9	9	11	12	19	4	9	12	18	238
よくない			3	3	3	6	7	2	1	1	1	1	2	1		1		3	2		37
その他									1						1		1	1	1		5

いい感じになったから。 / 意見がたくさん出た方がよかった。 / たくさん意見が出たから。 / テキパキしてた。 / 初めてだったけどよかった。 / 話し合うことがはっきりしていた。 / よかったです。 / わかりやすかった。

いい進捗だったと思う。 / 意見が出たと思う。 / いろいろと昔の話とか聞けて楽しかった。 / うまく進められてたし、濃い内容だった。 / 改善したい点とかみんないえてよかったと思う。 / 司会進行はよかったと思います。参加する分科会に対する各自の意見を持って参加してもらえればなおよいですが…。 / 司会の方がうまく進めてくれました。 / 少し意見が出なかったかな? / テンポがよかった。 / とても工夫された始まり方で楽しくできました。 / 発言者が少ない。 / よいと思いました。 / よい話し合いができてよかった。 / よかった。

1年生が多かったので、全学年平均的な人数でやったほうが話がかたよらないと思います。 / うまくいかなかった。(自分が司会だったから)

いまいちどうしたらいいのが決まらなかった。 / 自分自身のことを考えるとよくやったと思う。 / 自分の意見を言ってくれた。 / 進行係のみなさんご苦労様でした。あまり慣れない中頑張ったと思います。 / 男子がどうしても話の外になってしまった。

意見が積極的に出るとよかった。 / グループで話したり、みんなの意見を聞いたり、進捗がよかったと思う。 / 進捗がしっかりしていた。三者がしっかり参加していた。 / スムーズに進められた。 / 止まってしまったり、うまくできなかった。

ぐだぐだでした。 / 生徒の司会・進捗がよかった。

意見のいいにくい話の振り方だった。みんなやる気なさ過ぎて自分も意見いう気になれなかった。 / ぐだぐだでした。 / 声が聞こえなかったし、意見をいう人を指名してもちろんと答えるまでやってくれない。 / 司会の声が小さかったのが残念。 / 事前アンケートの集計により、現生徒の実態がわかり、それに基づき話ができたとする。

意見が出なくてだめだった。 / 司会の生徒の力量に頼るところがあるので難しいがグループ討論などを入れたらよかった。(計画には入っていたが) / しっかり進めてくれた。 / 深く知れた! / まとまっていなかった。 / もう少し時間をかけ、生徒と打ち合わせの時間がほしかった。 / わかりやすかった。

意見の出し方の工夫などほしかったと思うが、司会では一生懸命やっており、その姿は大変良かった。 / 司会がやりにくかった。

生徒の司会はちょっと大変かな?けれど頑張っていました。先生でもいいのでは? / 話が詰まってしまったとき、保護者の方など意見を出してくれてよかった。司会の打ち合わせがもう少し必要か?予定通りにいかない。 / もう少し流れをしっかりしておけばよかったです。 / もっとどんどん指名したらよかったかなとも思います。

3年生がうまく進めてくれた。 / あまり意見が出なかったけど進め方はよかったと思う。 / 意見をいった人に対して一言添えて進捗したところ。 / うまく進捗してくれたので意見が言いやすかった。 / 会長うまかったよ! / 計画を立ててスムーズに進捗したと思います。

さすが生徒会長って感じでした。でも沈黙のグループもあった。 / 司会者の話の進め方、話し方がわかりやすかった。 / すごく進め方が上手だった。 / スムーズだった。 / スムーズだった。内容もよかった。 / スムーズで濃い内容だった。 / 生徒会長はじめ、役員の皆さんが頑張ってくれて楽しかったです。 / 先生みたいだった。 / 全体ではよかったけど、グルー

ブのときぐだぐだになってしまった。

できばきしてよかったと思う。/ 内容の中でなかなか意見のいいあいかなかった。/ 中身が濃い話し合いだったと思う。/ 初めにゲームなどして緊張が少なくなり、普通に話げできた。/ みんなで協力してできたから。/ もう少し内容をしぼるか、意見を掘り下げていくぐらいした方がいいと思う。

司会の先輩の進め方がよかった。/ スムーズにできた。/ 内容的に本当に普通でした。/ みんなの進路の悩みがわかった。

順番どおりに進んだ。

司会の生徒たち頑張りました。/ スムーズにできた。/ はきはきと進行していたのでとてもよかったと思う。/ 皆で話し合えていなかった。/ もう少しまとめてあればよかった。/ よい部分もありましたが、私はてんばってしまって。

すごくよいと思いました。/ スムーズだった。/ スムーズでした。/ テーマと生徒の意見がそれほど関係してなく、何だか分かりません。/ もう少しテンポよく話し合いができたほうがよかった。

1年生はなかなか意見を出しにくい部分があった。/ 学年ごとに分かれたので1年生がどうしてよいかわからず話が進まなかった。/ 緊張もあってちょっと戸惑っていた。けど、よかったと思う。/ とても分かりやすい内容だった。/ もうちょっとスムーズに進めたかった。途中で止まってしまった。/ わかりやすかった。

司会進行が段取りよく進めてくれたのでよかったのではないか。/ 司会生徒はよくがんばっていた。もう少し一人ひとりがたくさん話せるような振り方を工夫できると良かった。/ 司会の生徒がしっかりしていた。みんなが意見をいえるようにあてていた。/ スムーズだった。/ 生徒さんが一生懸命進めてくれているのが分かりました。先生の助言も加わりよかったと思います。/ 討論の最後に無理やりまとめた感じがあったから。/ 内容がしっかりしていて良かった。/ まとめなどをしていて討論の内容を分かりやすく理解できた。

もう少し考える時間がほしい。

いい感じに進行してくれた。/ 今の現状のグラフや全校の意見などがまとめてあって見やすかった。プリントに沿った質問や回答でいいやすくてよかった。/ 司会の生徒がよく考えて準備をしてありよかった。/ 資料が配られて分かりやすかった。/ 資料を用意したり、話が途切れることなく進んでいて、頑張りました。/ 進行の生徒さんたちがよく内容を検討してあり、分かりやすかった。

すすめ方がうまかった。/ スムーズに進行できていてよかったと思います。/ 全員がすべての問題に答えることができ、とても良かった。/ 間のとり方がとても良く、内容も良かったです。/ 難しいテーマでしたが良くまとめられていたと思います。/ わかりやすかった。

意見をいいやすかった。/ 絵を描いて分かりやすかった。/ 司会の女子生徒はともしっかりと会を進めていました。全員が発言できてとても良かったです。/ 少し難あり。/ 少し遅かった気がする。/ スムーズに進んでいた。/ 導入のゲームはよかった。司会者が事前準備をよくやってあった。/ もっと台本みたいなものを作っとけばよかったなあって。/ よく調べられていた。

温暖化に関する資料を集めたりしていいと思いました。/ 係の生徒がよく動いてくれました。/ 司会の人があまく進めていてよかった。/ 司会の人分かりやすかった。/ 段取り悪かった。/ 時々とまるときもあったけどよかったと思う。/ 努力している姿がよかった。/ 補足などがしっかりしていた。/ よくやっていました。/ 話題がなくなってしまって迷惑をかけた。

司会はなかなかしっかりしていた。出席者の生徒の声が小さく何を言っているのかわからなかった。/ 生徒の意見がもう少し積極的に出てくればよかったと思います。/ 段階を踏んでしっかりできていたと思う。/ 何回も同じことを繰り返していた。/ プリントが見やすくわかりやすくできていたのでいいと思いました。

4.分科会の感想、討論で言い残したこと

いろんな案も出たしよかった。/ かわいいといわれている制服なのできれいに着こなしてほしい。/ 自分たちのことなのでもう少し具体的に自分たちの主張したいことを発表してほしいと思いました。/ 自由化がいいですね。/ 体育の後とか、朝部活の後、次の授業までに時間がなかつたりするので楽な格好にしてほしい。/ 半自由化!!/ 半自由化。/ 半自由

化にしてほしい。

言い切った。/ ジャージの上にスカートが変なら、スラックスの上にスカートでは?/ セラーは今しか切れないから卒業までちゃんと着ようと思った。/ 討論自体は悪くなかったが、発言者が特定に人しかなかった。/ とりえず自由化(男女)/ 夏服はプールのときに脱ぎにくいのでYシャツのようにしてほしい。/ 冬服の自由化か冬の夏服着用やカーディガン着用の許可を出してほしい。/ 保護者も交えての討論だったので、東の中からだけでなく、外からの視点がわかった。/ もっと制服について考えていく。

1年生だからよくわからないことが多かった。/ 運動着をどうにかして。/ それぞれの立場で思っていることがそれぞれだと思った。/ 大変だった。3年生はしっかり考えてくれた。/ ネクタイをリボンにしてほしかった。/ よくわかんなかった。/ リボンがいい。

意見が出てよかった。/ 親と子どもの考えの温度差を感じました。いろいろ決めてもどうなのかなって感じがしました。自分のスタイルというものがあるんでしょう。/ 正直ブレザーの方が好きだ。それと今の学ランはあまり好きでない。/ 制服は着たいように着ればいい。/ 制服はきちんと着てほしい。/ 制服は自由でいいと思う。/ 男子の制服のアンケートの中の悪い点の中で首元がくるしいというのが気になった。/ 冬服についてもう少し考えたほうがいい。

生徒の意見をもう少しハッキリいってほしい。/ たまにはいいと思う。/ 一人一人責任感を持てる人間になってほしいと思う。/ 部活で髪を染めないのは生徒も心がないわけではないのでやはり感じるものがあると思う。/ わが子は化粧、毛染め、パーマはしていませんが、自分の進むべき「進路」がわかっているならそれが今必要か不必要か考えさせています。

意見をいわない人がいた。/ 意見をいわない人がいたのでちゃんといわせた方がいい。/ もっともっとたくさんの意見が出ればいいのになあと思いました。

いい分科会になったと思う。/ 大人と生徒の間には意識のギャップがあることを感じるとともに、生徒の中からの活発な意見がもう少しほしかった。/ 携帯電話は授業前に回収すべき。/ 高校生の本音が聞けたと思いますが、やはり授業中は携帯は先生に預けるくらいがいいのでは。/ 自分自身も携帯電話の使い方をしっかり考え直したい。/ 授業前にケータイは回収すべき。/ 進め方がいまいちだと思った。/ ちゃんと意見を出してほしい。司会の声が小さくて聞きにくい。なんで授業中にケータイをだすのかを聞きたい。必要ない。など。/ マナーの意味がわかっていない。

いろんな人の意見を聞いてよかった。/ 友情、恋愛、性も相手がいることなので、愛でも自分も大切にしていってほしい。

結構みんな話してて良かった。/ 3年生がとてもうまく司会をやってくれてやりやすかった。自分たちからもっといい東高をつくっていききたい。/ この状態でどんどん盛り上げていけることを期待したいと思います。/ これから東高をよくしたいと思った。/ 進め方がすごくうまくて先生みたいだった。/ 全校のことがわかってよかった。/ 先生(もしくは親)の勉強の教え方がよくわからない人がいる。/ 先輩、後輩のつながりは文化祭の企画などでグループに分かれてとかやればいいと思います。/ 長くなるくらいなら10分間の休憩はいらぬ。/ まとめをしっかりと今後を生かしていこう!! もうちょっと校則をゆるやかに。

1,2年生の意見をもう少したくさんほしかった。/ 人それぞれだと思った。/ 皆、真剣に考えて意見を言っていました。もう少し皆に聞こえる大きな声を聞きたかったです。/ ゆっくりでいいので、いろいろ経験して目標や夢を探してほしいと思います。/ よい成績をとって何になる?

お互いもっと言い合えたらよかったと思う。/ 討論がよくできたと思う。/ 部活動を通して得たものは大きい。/ やる気が合っても部活に行かないのは?などのことについて話せばよかった。

いろいろと意見が聞けてよかった。/ いろいろな意見が言い合える。/ 貴重な話がいろいろ聞けてよかった。/ 先輩を支えます!! 部活を3年間頑張りたいと思います。

元気な子どもの姿を見たかった。/ 個人の学力を先生たちが理解したうえで授業を進めるべきだと思います。/ 生徒からの意見が少ない。/ 生徒は勉強が好きじゃないという生徒が多く残念でした。もう少し自分から意見をいってもらいたい。/ 保護者の意見が聞けてよかったです。/ 目標に向かい、楽しく厳しく高校生らしく。東高の誇りを大切に進んでほしい。/ わかりきっていることをなぜやるのか、考えなくてもわかることを討論する必要はないと思う。

いろいろな話が聞けてよかった。 / 子ども一人ひとりがしっかりした目標を持てればいろいろが変わってくると思う。

アンケートを見てホッとしたところ、ヘエーと思うところがありました。来てよかったです。 / これからの若者は夢が必要だと思った。 / しっかりと進めることができた。 / メール、ネットでなく自分の言葉で自分の気持ちを伝え、また人の声にも耳と心を傾けてほしい、そうしたい。 / もう少ししゃべりたいこともありましたが、いろんな人の意見が聞けてよかった。 / もう少し生徒一人ひとりの意見を聞きたかった。 / もっと生徒の意見が聞きたかった。

いい討論ができた。 / 今時の子の考えていることが少し分かった気がします。 / 高校生の皆さんの考えが、私の時代よりもものすごくしっかりしていると改めて知りました。

温暖化の最大の原因は二酸化炭素を出す発電所だということでした。 / 聞いていて暇になることがなかった。 / 参加者が事前にテーマに対する予習をしておけば意見が活発に出せたと思います。 / 少人数でよかった。 / 節電をしようと思った。 / とても満足です。

あまりわかっていなかったこともわかり、今後の生活に役立ちそうです。 / 興味関心の持てない子をどうしたらよいか、課題です。

この話題は終わりがありません。 / これから自分が何をしていかなきゃいけないか分かったのでよかった。 / 戦争の話が出たけれど、私たちにはどうすればよいか? / たくさん意見が出てよかったと思う。 / 地球温暖化のスピードが少しでも遅くなればいいと思う。 / 日本だけでなく世界中で考えていかなければいけないことだと思うので。 / 話し合えて楽しかった。気づくことができた。 / 飛行機が飛んでも節約したぶん出る CO2 は少ないのではないかな? / 一人ひとりがちょっとの努力で大きい力となる。

あまり意見が出なかったので残念でした。 / 地球が暖かくなっていることにもっと危機感を持たなければいけないのではないかな。

5.このような討論をどう思うか

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計
よい	13	19	9	9	13	10	13	9	19	23	20	10	19	9	10	22	15	10	19	8	279
どちらともいえない	5	3	9	9	12	9	16	10		4	7	2	3	9	7	7	2	7	6	15	142
よくない			1	3	1	2	1	3						1			1	1		1	15
その他				1		1		1				1	1					2			7

親の考えも聞ける。 / どう見られているかがわかるからいい。 / 初めてだからよくわからない。 / 保護者ももっと多く参加してほしいです。 / みんなの意見が聞けるから。

言いたいことが言える。 / いろいろ理解できた。 / いろんな意見が聞けてよい。 / いろんな考えを聞けていいと思う。 / いろんな人の意見を聞けていいと思う。 / 親の意見もわかるし、子どもじゃ考えつかないこともわかる。 / 様々な方向から聞けてよい。 / 普段いえないことが言える。 / 普段は保護者や教師、生徒で話し合う場がないので、こういう場はとてもよいと思います。 / みんなの意見が聞けていい。 / やっぱり保護者や教員の方々の意見も聞けたから。

いいと思う。 / 気持ちのよい高校生活を送るのに必要である。 / どっちでもいい。 / 話し合えたから。でも土曜日はないです。 / 別にどうでもいい。

意見を聞けるのはいいが、あまり意見が出ない分科会もある。 / いろいろな意見が聞ける。 / いろいろな人の意見も聞けてよかった。 / 親の意見も言えたのでよかったと思います。もう少し子どもの意見も出たら良かったと思いました。 / 外から見た東がわかっていい。

普段こういう場がないから。 / 保護者の方の参加がもう少し多いとよいと思う。

いろんな人の意見を聞いた。 / 高校生の生の声を聞くことができてよいと思う。 / 先生の助言があるからいい。 / 何も変わらないし無意味。 / 普段話すことのない保護者の方や、先輩たちの話が聞けてよかったと思った。

いろんな意見が出ていいと思う。 / 子どもの気持ちがよくわかった。 / それぞれの立場で話し合うことは大事だと思いました。

意見をいいあってよい方向に向かえばいいけど、変わらないのであれば必要ないから時間の無駄になるだけ。 / いろんな状況の人の話を聞ける。先生や保護者とか。 / いろんな人の意見を聞けるから。 / 生徒に意欲がなさすぎ。意見をまじ

めに聞かないからやっても意味があるのか。/ それぞれの立場から話ができただけでよかった。/ 他の学校にないので。/ どんなことも“考えること”は必要です。/ 昔と今の違いが聞ける。

大人の意見が聞ける。/ 答えが出ないので。/ 広い視野を養うために今後も継続すべき。/ 普段いえないことをいいあえていいと思う。/ やっても意味ない。/ よい方向に向かっていってくれたら意義のある会になると思います。

いろんな意見を聞けるから。/ いろんな親の意見を聞けてよかった。/ こういう場も必要。/ 参考になりました。/ 大変だったけどみんなが真剣に考えてくれて嬉しかった。

あまりできないことだから。/ いろいろな意見が聞けるから。/ いろんな方の意見を聞ける。/ いろんな現状がわかるから。/ いろんな人の意見が聞ける。/ 校内だけではなく、校外の人の意見も聞けていいと思う。/ 参考になっていいと思う。/ 三位一体となって討論することは画期的なこと! / 生徒、先生だけでなく保護者も含めるところがよい。/ 生徒にとって第三者からの話を聞くことで少しでも気持ちが変われたらよいと思う。/ 全員で進めることはいいことだと思った。/ 他の学年の人からたくさん聞けてよかった。/ たまにはいいんじゃないかと思った。/ 同窓生の人たちの意見も聞けていい。/ 東高について考えられるよい機会! / 保護者の意見も聞けるから。/ 保護者の人の意見とかも聞けてよかった。/ 保護者の人の意見はよい。

いいこともある。/ 自分の親だけでなく、他の保護者の意見を聞ける機会も大切だと思った。/ ためになる。/ 長いし、腰痛くなったからもっと短くしてほしい。/ 普段は聞けない話も聞けた。/ 保護者の意見はよかった。参考になった。/ 保護者の意見を聞けるから。

全体ではなすことがめったにないのでよかった。

意見が聞ける。/ 意見がしっかりいえていいと思う。/ いろいろな意見が聞けてよいと思います。/ いろいろな意見が聞けてよかった。/ いろんな意見が聞ける。/ 親や先生たちの意見も聞くことで自分の中の考えがまた大きく広がるのですごくいいと思います。/ 様々な顔が見れました。/ とてもよいと思う。

意味がない。/ いろいろな意見が聞けるから。/ いろいろな方の意見が聞けて素晴らしい。/ いわれたくないことまでいわれるからよくわかんない。/ 生徒だけでなく保護者や先生などの意見を聞けてよかったです。/ 話し合っても結果的に自分の意見が変わらないと思う。/ 保護者、教員のテンションは高いが、生徒のテンション、意識があまりにも低すぎる。議論になっていなかった。

いろいろな意見が聞けるからいいと思う。/ いろんな世代の人の意見を聞けているんな考え方ができた。/ 立場が違うとまた見方が変わると思うから。/ 土曜にやるのはちょっと…/ 東のためになるのでよい。/ 普段考えないことも考えるきっかけになる。自分の意見を伝え、相手の気持ちを理解しようとする良い機会ではないか。/ 保護者の参加が少ない。

考えるきっかけになる。/ 高校生だけの意見じゃなくて大人の意見も聞けるのでよいと思う。/ 高校生の様子が分かる。/ 交流があつていいと思います。/ コミュニケーションが取れることはいいことだと思う。それが良い東高を作り上げていくと思う。/ 今後続けていってほしいです。/ 様々な人の意見が聞けていいと思った。/ 自分の意見や周りの意見が聞ける場があつていいと思った。/ 自分の子どもだと面と向かって話せないことなど聞くことができる。/ 生徒だけだと話し合いにならない。/ 生徒だけでもいいと思った。/ 生徒の意見だけでなく、先生や親の意見も必要だから。/ 話し合うとプラスになったりするから。/ 普段なかなか聞けない子ども達の本音を少しは聞くことができると思う。/ 別の意見を聞けてよかった。

いろんな意見が聞けていいと思う。/ 多くのPTAの方の参加を望みたい。/ 高校生の皆さんの気持ちを聞けてうれしい。/ 自分を振り返ることもできるし、高校生活の思い出になる。/ 楽しいから。/ テーマによる。/ みんなの意見が聞けた。/ やったほうが東高がよい方向に向かうと思うから。

あってもなくてもいい。/ 意味ない。テーマがいけない。/ 異なった立場の人の意見を聞くことだけでも意味がある。/ 今後もこういう機会を作って同窓生も多数参加されるといいと思います。/ 保護者も一緒に考えるのでよいと思う。/ みんな一緒に考えられるのでいいと思う。



言いたいことが言えるからいい。/ いろいろな世代の人の意見を聞くことができるから。/ いろんな意見が聞けていいと思う。/ 多くの意見が聞けるから。/ 必ずしも全員が自分で希望して出席していない。/ 教員や保護者の人たちと考えは違うものがあるからいいと思います。/ 三者の考えがよく伝わりました。/ 分科会のテーマが大きかったので、もう少し絞って考えたほうがよかったですかもしれません。/ 皆さんの意見がわかるから。/ 役立つことだと思う。

意見をいう人といわない人がいるから。/ いろいろな意見が聞けるから。

6. P T Sは学校づくりに役立つか

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計
役立つ	17	21	11	7	6	11	12	9	19	25	20	12	20	7	9	19	15	9	20	13	282
役立たない			1	3	2	3	3	3					1	4	2	1	1	5		1	30
どちらともいえない	1	1	9	12	18	7	15	11		2	6	1	2	8	6	8	2	5	4	10	128
その他						1				1	1	1					1	1			6

制服はみんなが見るものだから大事!!でも土曜日にやるのはやだ。/ みんなの意見でいい高校になると思います。/ 役立つと思います。/ 役立つと思います。/ 役立ってほしい。

改善されていくからよい。/ 変わればよい。/ 制服は毎日着るものだから。/ だんだんだけ話がまとまってきた。/ とてもよくなると思います。/ 何かは変わるはず。/ もしかしたら変わるかもしれないから。/ 問題解決。/ 役立つと思います。/ 役立つのではないのでしょうか。/ よくなるか悪くなるか社会の影響もある。

意見が出ないと意味がない。/ 子どもたちに考える機会が与えられると思う。/ たくさん意見が出たから。/ 内容にもよりますが、これからの東高がよくなるのであればあってもよいと思います。/ まずは互いの話を聞くという意味では大切である。

あまり変わらないと思う。/ グループに分かれて話をしたときにきちんと自分の考えを言ってくれたからそれが伝わってあげればきっと良くなると思います。/ 行動に移す。/ 今回討論になっているように思えなかった。/ 話し合っても解決しきれない問題ではないと思った。/ 役立ってほしい。

いろんな意見があるから。/ 流行とかもありますし、生の気持ち(本音の部分で)が聞けるのはなかなか機会がないので必要だと思います。

意見がたくさん出たから。/ 一歩を踏み出すことは大事だと思います。/ 変わらないなら必要ないが、どういう意見があるのかわかるのはいい機会。/ これらの意見を取り入れるかによる。/ やる気のない人が多い。/ 理解を深めることができる。(種々の問題に対して)

言い合っても変わらなければ意味がない。/ 恋愛など関係ない。

今後に生かして生きたいです。

いろんな話が出るからよかった!!役立つと思う。/ 改善点がわかるから。/ 去年も自販機とか実現できたから。/ 実際行動しなければ意味がない。/ 自分自身の今後が楽しみ。/ 自分たちで頑張る。/ 生徒、先生、保護者の人が意識できると思います。/ それぞれが思っていることをいってもらったから。/ 話し合うことは大切だと思う。/ 東の悪いところや良いところがわかって改善できる。/ 一人一人が意識を持てば。/ 一人一人がこれだけ考えていたら大丈夫だと思います。/ 一人一人の意識が変わると思う。/ 別にできているからよい。

良いところや悪いところを話すから今後の学校をつくっていくのに役立つ。

参考になったから。/ 何かしら役に立つと思う。/ 役立つところもありました。

いろんな話ができるから。/ 去年もあって今年もあって自販機が入ったから。

いろいろな意見が聞ける。/ 雰囲気が変わりそう。

いろんな意見が出されていて役立つと思いました。/ 役立つ場合と役立たないばあがあると思う。/ よい東高の前に、自分自身について考えた方がよいかも。その後のテーマが「良い東高」かも。

具体的に必要な内容や意見があった。/ 結局実行に移せることは少ない。/ この場でいった意見がどうなるかわかんないから。

最初思ってたことと考えが変わってくるから。/ 前回のP T Sで話した内容が生かされていない気がするから。/ 保護者

の方々の意見を聞き入れる耳が持てれば役立つと思います。/ 両方の意見が聞けるのでよい。

変わらない。/ このような活動をしていけばいいと思います。/ 相互理解を深めるのに役立つと思う。/ みんなで話し合えるから。

2年目ですが昨年よりずっと発言がしっかりしていて安心していられました。よい東高になっていくと思われま。/ いい話し合いだったから。/ いろいろな考えが聞けてよい。/ 自分の思っている意見を伝えられるから。/ 生徒が皆の前で話す機会はほとんどないのでよい訓練になる。/ 討論したことを全校に広めなければ意味がないと思う。/ 内容が心に響かなければやる意味はない。/ 役立つと思う。(お互いにしっかりした意見があれば)

いろんなことを気をつけてできそうだから。/ 地道な活動の積み重ねが重要。/ テーマがテーマなので。/ 討論になってないから。/ 話し合いをしたのでいろいろと気をつけることができると思う。

これからもエコ活動をしていけばいいと思う。/ 節電や節水につながると思うので役立つと思います。/ とても素晴らしいテーマがあり、みんなが考え実行していくには必要だと思います。/ 話し合いをするから。/ 人の前で意見をしっかりというということが大切だと感じました。/ まとめるのは難しいが話題によっては必要! / みんなでエコしていけばいいと思いました。/ 来年もずっと続けていけたらいいです。

地球温暖化はなんともいえない。

7. 今後のPT Sへの要望・意見

もう少し保護者の参加があればよいと思います。/ よいことだと思うので続けていってほしいと思う。

学校のコンセンで携帯やドライバーを使っているのか! / 制服の問題であれば全体の話も必要だがまずこの一点とかいう話もあった方がよい結果を煮詰めやすいと思う。/ 続けていってほしいです。/ またやるといいと思います。

生徒の皆さん、もっと大きい声ではっきり話すことに心がけてください。/ また来年も続けてほしい。/ もう少し保護者の方がいたらと思いました。

この5のテーマは難しい。/ 平日にやってほしい。/ もうやらないでください。

やらないほうがいいでしょう。

今後も続けることが大切です。/ 生徒の意欲なさすぎ。ふざけすぎ。真面目にやってほしい。真面目じゃない人は欠席扱いとかにしたらいいいと思う。/ 雰囲気とかもみんな疲れてるっぽかった。/ 前の人の回答に対し「同じです」の発言をする人は参加してる意味あるんですか?

平日にやってください。

今後も関心のありそうなテーマを見つけてほしいです。/ 生徒の参加の工夫があればさらに良いと思う。/ 良いお父さんがいたからよかった。/ 良い父親にあえてよかった。

アイスの自販機について。/ 今のままでいいと思う。/ 時間が少ない。徹底的に話し合いたい。/ 自分自身のこと考えられるようにしていくとよい。/ 毎年カラーを変えて、その年なりのやり方で盛り上げていったらよいと思っています。

学年ごとに分けた分科会があってもいいのではないのでしょうか。/ 時間を短くしてほしい。/ 続けてほしい。/ どんどんやっていけばいいと思います。

来年も項目を増やしてやればよいと思う。

大変だけどつなげたほうがよいと思います。/ 保護者をもっと参加してくれるといいと思いました。/ もっと事前に話し合う必要がある。

生徒の生の声をもっと聞きたかった。/ 保護者、同窓会の肩が積極的に発言してくれてよかった。生徒の方は目標なく高校にきている者が見られ残念である。欠席が多かった。/ 本当に意味のあることをしたほうがよいと思う。/ 目標は高く。立派な高校生を望みます。/ 来年は考え直したほうがよいと思う。講演はよかった。

欠席者の措置。/ 年1回でいい。

またぜひ参加させていただきたい。/ 身近で生徒がたくさん話したいと思えるようなテーマの設定が必要。/ やっぱり自分から意見をいえる雰囲気にしてほしいなと思いました。

続けていけばいいと思います。

今後このような無理難題は控えていただきたい。/ テーマをもっと東高に関係したものにすればいいと思う。/ てきばきやってほしい。

来年からやらないでほしい。休日は絶対嫌だ。

P T S 強制参加やめてほしい。

3. おわりに ~ 全校P T S の継続から発展へ ~

皆さんの協力で2回目の秋のつどい・全校P T S が無事終了しました。本当にありがとうございました。昨年は、とにかく初めての取り組みとしてまったく手探りの状態でしたが、今年は1回目のイメージを踏襲しつつ、前回残された課題を前進できたらと取り組んできました。全体的な総括は次回第9回の協議会の場に譲りたいと思いますが、全校生徒の参加体制という面では大きく前進し、この全校P T S の意義が徐々に全校生徒に浸透しつつあることを感じました。分科



会担当の生徒諸君も、2年目ということもあってだいぶ場慣れしたのか、先生方の助言の下に実によく準備をし、分科会を切り盛りしてくれました。岡谷東高校P T S における、春の定例協議会（課題の検討・提起）

秋の全校P T S（課題の討論） 冬の定例協議会（課題の方向づけと具体化）という流れが定着しつつあるように思います。単に回を重ねていくだけでなく、新たな発展に向け、三者それぞれの立場から学校づくりの課題を掘り起こし、より深い議論ができるようにしていきたいものです。

（文責：事務局）

第9回P T S 協議会は12月12日(金)に開催を予定しています。